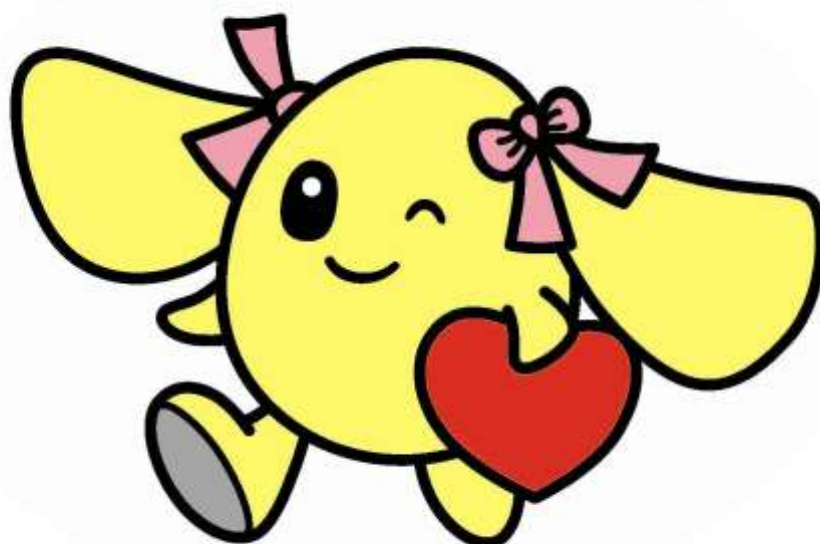


令和 5 年度

事業報告書



マスコットキャラクター **ふくぴい**

理事会承認 令和 6年 5月 23日

定時評議員会承認 令和 6年 6月 7日

社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会

目 次

概 況	1
I. 社会福祉事業	
1. 法人運営事業	4
2. 地域福祉事業	
(1) 地域福祉事業	13
(2) 成年後見支援事業	15
(3) 共同募金配分金事業	18
(4) ボランティアセンター事業	23
3. 小口資金貸付事業	26
4. 受託事業	
(1) 福祉サービス利用援助事業	26
(2) 生活困窮者自立支援事業	28
(3) 生活福祉資金貸付事業	31
(4) 北部地域包括支援センター運営事業	32
(5) 聴覚障害者コミュニケーション支援事業	36
5. 介護福祉事業	38
(1) 訪問介護事業	38
(2) 通所介護事業	40
6. 障害福祉事業	44
II. 公益事業	
1. 居宅介護支援事業	46
2. 指定管理施設運営事業	47
3. 公益受託事業	
(1) 生きがい活動支援通所事業	49
(2) 介護用品支給事業	50
(3) 生活支援コーディネート事業	51
(4) 軽度生活支援事業	55
III. 収益事業	
(1) 会館運営事業	58
【資料編】	
1. 会 員	59
2. 役員、評議員、委員会、部会	59
3. 職 員	61
4. 会 議	61
5. 組織機構図	65

【概況】

少子高齢化・核家族化の進行、人口減少などを背景に、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などが増加するとともに、地域の中で住民同士のつながりが希薄化し、個々の課題解決が難しくなっています。

また、ひきこもりやDV、児童虐待、権利擁護、生活困窮などの従来の福祉制度の枠組みでの対応が困難な課題が増大するとともに多様化しています。

新型コロナウイルス感染症については、全国的にも魚沼市においても収まってきているようですが、当社協において2ヶ所のデイサービスセンターで集団感染が発生しました。感染症対策を引き続き継続します。

このような中、本会は『あたたかい手 やさしい心で つなげよう福祉の輪』を理念に掲げ、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの実現を目指し、魚沼市における社会福祉事業などの様々な事業を通じて、地域福祉の向上に取り組みました。

財政面では、資金収支ベースで△16,952千円、事業活動では当期活動増減差額△46,434千円となり、2年続いたの赤字決算となりました。

介護福祉部門のデイサービス事業における減収が大きなウエイトを占めています。介護保険料の減収・高額利用者の特養への入所・利用者の減等が要因として考えられます。

令和6年度は、早い段階で数値に基づいた分析を行い、改善策を検討し、進むべき方向性を判断し、安定した事業運営を目指します。

◎ 総務部門

- ・第1次発展・強化計画の初年度として、相談支援、参加支援、地域づくりの一体的な実施を図るため、自治会、福祉施設・団体、民生委員・児童委員、ボランティア、行政等との連携を深め、地域共生社会の実現に向け、各種事業の推進に取り組みました。
- ・不測の事態が発生しても、重要な業務や福祉サービスを中断することなく、緊急時に迅速な対応ができる体制を目指し、災害時の職員参集マニュアルの見直しと業務継続計画（BCP）の策定を行いました。
- ・適切な対応が出来るよう、計算書類に基づき、月次毎の収支状況、経営分析等を行いました。

◎ 地域福祉部門

- ・地域福祉事業においては、感染対策を継続しつつ、通常の事業実施に移行を図り、住民同士の支え合い活動を促進しました。
- ・相談支援においては、生活困窮者自立支援事業をはじめ、魚沼市や県社協からの委託を受け、相談体制を整備することにより、支所ごとに担当を配置し、きめ細かな相談対応に努めました。さらに、地域包括支援センター業務を受託し、北部圏域における高齢者支援の中核的な役割を担い、介護保険制度に限らない様々な相談に対応しました。

◎ 介護福祉部門

- ・経営状況の悪化に伴い、令和6年1月1日に新たに経営改善係を設置し、介護福祉事業経営の見直しと改善に向けた取り組みを行っています。

- 自然災害や感染症の発生等に対して、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するため、各事業所で作成した業務継続計画を基に介護福祉課全体で机上訓練を実施し、事業所ごとに計画の見直しを行いました。
- 伊米ヶ崎デイサービスセンターでは、職員の減少及び利用者数に見合った事業運営として、令和5年9月1日から地域密着型通所介護へと事業転換し、令和6年3月12日にご利用者並びにそのご家族、地域の民生委員児童委員、関係機関職員等による、運営推進会議を開催し、運営状況及び活動報告などの説明をいたしました。

以下、令和5年度に掲げた事業計画区分ごとに報告します。

法人全体

単位:円

科 目	総 計		
	予算	決算	差異
会費収入	9,500,000	9,321,000	179,000
経常経費寄附金収入	1,302,000	1,437,791	△ 135,791
経常経費補助金収入	99,291,000	96,598,373	2,692,627
受託金収入	116,507,000	115,899,179	607,821
貸付事業収入	300,000	280,000	20,000
事業収入	9,740,000	9,655,870	84,130
介護保険事業収入	287,261,000	290,937,013	△ 3,676,013
障害福祉サービス等事業収入	10,688,000	9,991,950	696,050
その他の事業収入	206,000	177,750	28,250
受取利息配当金収入	16,000	6,059	9,941
その他の事業収入	8,343,000	6,427,619	1,915,381
事業活動収入計 (1)	543,154,000	540,732,604	2,421,396
人件費支出	430,527,000	412,865,219	17,661,781
事業費支出	131,582,000	114,576,679	17,005,321
事務費支出	21,249,000	17,028,319	4,220,681
利用者負担軽減額	4,000	0	4,000
その他の支出	785,000	784,512	488
貸付事業支出	290,000	180,000	110,000
助成金支出	1,852,000	1,851,000	1,000
事業活動支出計 (2)	586,289,000	547,285,729	39,003,271
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 43,135,000	△ 6,553,125	△ 36,581,875
施設整備等補助金収入	0	164,000	△ 164,000
固定資産売却収入	0	1,210,000	△ 1,210,000
施設整備等収入計 (4)	0	1,374,000	△ 1,374,000
固定資産取得支出	1,999,000	1,108,250	890,750
ファイナンス・リース債務の返済支出	7,248,000	7,180,645	67,355
施設整備等支出計 (5)	9,247,000	8,288,895	958,105
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 9,247,000	△ 6,914,895	△ 2,332,105
積立資産取崩収入	40,000,000	0	40,000,000
その他の活動による収入	786,000	797,792	△ 11,792
その他の活動収入 計 (7)	40,786,000	797,792	39,988,208
基金積立資産支出	0	1,298	△ 1,298
積立資産支出	10,000,000	3,339	9,996,661
その他の活動による支出	4,533,000	4,277,033	255,967
その他の活動支出 計 (8)	14,533,000	4,281,670	10,251,330
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	26,253,000	△ 3,483,878	29,736,878
予 備 費 (10)	900,000	0	900,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 27,029,000	△ 16,951,898	△ 10,077,102

I. 社会福祉事業

1. 法人運営事業

(1) 法人運営事業

① 組織運営の強化

理事会、評議員会及び委員会を適宜開催しました。

ア 理事会

	期 日	開催場所
第1回	5月24日	小出ボランティアセンター
第2回	6月 9日	小出ボランティアセンター
第3回	11月24日	小出ボランティアセンター
第4回	3月14日	小出ボランティアセンター

イ 評議員会

	期 日	開催場所	備 考
第1回	6月 9日	小出ボランティアセンター	定時評議員会
第2回	12月 1日	小出ボランティアセンター	臨時評議員会
第3回	3月25日	小出ボランティアセンター	臨時評議員会

ウ 企画調整委員会

	期 日	開催場所
第1回	4月21日	小出ボランティアセンター
第2回	5月16日	小出ボランティアセンター
第3回	8月19日	小出ボランティアセンター
第4回	11月15日	小出ボランティアセンター
第5回	3月 7日	小出ボランティアセンター

エ 監査

	期 日	内 容	開催場所
第1回	5月12日	令和4年度事業及び財務経理状況の監査	小出ボランティアセンター
第2回	11月10日	令和5年度上半期の事業及び財務監査	小出ボランティアセンター

オ 評議員選任・解任委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	8月 8日	魚沼市社会福祉協議会評議員の選任について	小出ボランティアセンター

カ 役職員の研修

期 日	内 容	開催場所
10月19日	第73回新潟県民福祉大会	上越文化会館

② 財政基盤の強化

ア 会員の加入促進

コロナ禍における経済状況の悪化が続いていますが、嘱託員等から会費収納に協力いただき、概ね予算額通りの実績となりました。今後も自治会を単位とする活動の推進、支援を強化することが住民の福祉意識の高揚を図り、会費収納増強につながると考えます。

a 一般会員加入実績（前年度比 97.9%）

	本年度		前年度	
	会員数（人）	金額（円）	会員数（人）	金額（円）
堀之内	1,854	1,893,000	1,865	1,906,000
小 出	2,483	2,581,500	2,598	2,653,000
湯之谷	1,316	1,325,500	1,304	1,316,500
広 神	1,513	1,656,000	1,565	1,715,000
守 門	607	648,000	626	676,000
入広瀬	242	244,000	255	257,000
合 計	8,015	8,348,000	8,213	8,523,500

b 特別会員加入実績（前年度比 97.1%）

	本年度		前年度	
	会員数（件）	金額（円）	会員数（件）	金額（円）
堀之内	77	231,000	78	231,000
小 出	103	439,000	110	466,000
湯之谷	29	58,000	28	59,000
広 神	51	140,000	50	141,000
守 門	17	44,000	17	44,000
入広瀬	16	61,000	16	61,000
合 計	293	973,000	299	1,002,000

c 連合自治会長会議、嘱託員会議での啓発活動

イ 基本財産の処分

a 財産の名称等 堀之内社会福祉センター 1階部分 1,085.41 m²
（魚沼市大字堀之内 4327 番地 1）

b 財産処分の内容 魚沼市への無償譲渡

② 基本財産処分に係る手続き

期 日	内 容	備 考
4月19日	基本財産処分承認申請の提出	
5月 1日	基本財産処分の承認	
5月18日	寄付採納承認申請の提出	
5月22日	建物等無償譲渡契約	
7月 1日	定款の変更、所有権の移転登記、物件引渡し	

ウ 税理士法人ツチダ会計による伝票精査・財務相談・財務分析の実施（毎月）

エ 監事による経営分析勉強会（6/22. 小出ボランティアセンター）

オ 予算編成事務説明会（12/14. 小出ボランティアセンター）

③ 人材育成と確保

組織内の研修として職員全体研修や部門別研修等を開催しました。また、県社協等の外部研修会に積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。

ア 階層別研修

	期 日	研修名	開催場所
第1回	8月21日～8月22日	管理職員コース	オンライン
第2回	9月 4日～9月 5日	初任者コース	新潟ユニゾンプラザ
第3回	9月13日～9月14日	中堅職員コース	新潟ユニゾンプラザ
第4回	9月28日～9月29日	チームリーダーコース	三条地場産業振興センター
第5回	10月 5日～10月 6日	初任者コース	三条地場産業振興センター
第6回	10月12日～10月13日	中堅職員コース	三条地場産業振興センター

イ 職員内部研修

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月 3日	・新任職員研修	小出ボランティアセンター
第2回	6月 2日	・事業計画・活動方針説明会	小出ボランティアセンター

※部門別研修については各課で企画し、適宜開催した。

ウ 業務効率化の検討

- ・ kintone（web データベース型の業務アプリ構築クラウドサービス）を活用した業務改善（職員管理、地域福祉関連事業など）
- ・ 基幹システム（財務・給与・介護等）のクラウド化（オンラインプラットフォーム）
- ・ 公共施設予約システムの操作説明会（6/23. 市役所本庁舎）
- ・ 勤怠管理システム説明会の開催（8/24. 小出ボランティアセンター）

エ 資格手当の支給

資格名	支給人数	支給額（一月あたり）
社会福祉主事任用資格	7人	2,000円
介護福祉士	40人	3,000円
社会福祉士	11人	3,000円
介護支援専門員	2人	5,000円
主任介護支援専門員	8人	8,000円
看護師（保健師含む）	10人	5,000円
准看護師	3人	3,000円
作業療法士	1人	5,000円
理学療法士	2人	5,000円
計	84人	

④ 人事考課制度等の検討

ア 人事考課者研修の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	5月 8日	・講義「考課者としての心構え」 講師：株式会社マナーズ 山田節子 氏	小出ボランティアセンター
第2回	6月 12日	・講義「目標設定面談とOJT」 講師：株式会社マナーズ 山田節子 氏	小出ボランティアセンター
第3回	7月 10日	・講義「指導の基本スキルと中間面談」 講師：株式会社マナーズ 山田節子 氏	小出ボランティアセンター
第4回	8月 8日	・講義「フィードバック面談と育成課題の設定」 講師：株式会社マナーズ 山田節子 氏	堀之内社会福祉センター
第5回	12月 11日	・講義「期中フィードバック面談の振り返り」 講師：株式会社マナーズ 山田節子 氏	小出ボランティアセンター

⑤ 広報活動の充実

機関誌の定期発行及びホームページ活用による広報及び啓発を実施

ア 「うおぬま社協だより」の発行

号 数	発 行 日	備 考
第83号	6月25日	全戸配布 特別会員郵送
第84号	9月25日	
第85号	12月25日	
第86号	3月25日	

イ 編集会議の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月 19日	「社協だより」第83号編集会議	小出ボランティアセンター
第2回	6月 1日	「社協だより」第83号編集会議	
第3回	7月 18日	「社協だより」第84号編集会議	
第4回	8月 30日	「社協だより」第84号編集会議	

	期 日	内 容	開催場所
第5回	10月16日	「社協だより」第85号編集会議	小出ボランティアセンター
第6回	11月30日	「社協だより」第85号編集会議	
第7回	1月16日	「社協だより」第86号編集会議	
第8回	2月29日	「社協だより」第86号編集会議	

ウ ホームページやフェイスブックの運用
アクセス数 42,326件（前年度 36,902件）

エ マスコミ等への情報提供による新聞掲載

⑥ 各種リスクマネジメント

ア 福祉サービス苦情解決情報交換会の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決の仕組みについて ・情報提供及び報告事項 ・苦情等の解決に向けた取組について 	小出ボランティアセンター

イ 業務継続計画（BCP）の策定

	期 日	内 容	開催場所
第1回	6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・チームリーダー、サブリーダーの選出 ・社会福祉協議会の業務継続計画（BCP）とその策定の意義について 	小出ボランティアセンター
第2回	8月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返り ・被害の状況、BCPの発動、外部応援職員等の受入（受援） ・ワークショップ 既存マニュアル・緊急時の優先業務の確認 	小出ボランティアセンター
第3回	10月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返り ・素案の検討 ・ワークショップ 居宅介護支援事業所BCPで総合的な安否確認の方法をみてみよう 	小出ボランティアセンター
第4回	12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・素案について ・ワークショップ 取り組むべき項目について 	小出ボランティアセンター
第5回	2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画（BCP）策定説明会 講義：BCPの意義と大切にしたいこと 説明：災害時における業務継続計画（BCP）の概要 	ハイブリッド形式（対面とオンライン）

※アドバイザー：オフィス園崎 代表 園崎秀治 氏

※県民たすけあい基金の活用

⑦ 職員が働きやすい環境づくり

ア 安全衛生委員会の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	2月27日	・産業医による職場巡視	小出ボランティアセンター
第2回	3月11日	・委員長の互選 ・職員健康診断・ストレスチェックについて ・職員の療養・労働中の災害状況等について ・職場巡視の結果について ・職場巡視のあり方について ・メンタルヘルスの課題について	小出ボランティアセンター

イ 産業カウンセラーによる定期相談

相談内容	延べ件数	前年度
職場の問題	29件	17件
セクハラ	0件	0件
パワハラ	0件	0件
家庭の問題	0件	0件
健康の問題	10件	9件
合 計	39件	26件

ウ ストレスチェックの実施 11月13日～11月24日（22日間）

エ メンタルヘルス研修会の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	3月5日	管理・監督者向けメンタルヘルス研修 ・講義：「セルフモニタリングで自分を知る」 ・講師：朝日 由香 氏	小出ボランティアセンター

オ 日本年金機構 長岡年金事務所の実地調査及び制度説明

	期 日	内 容	開催場所
第1回	5月31日	全国健康保険協会管掌健康保険及び厚生年金保険年金保険被保険者の資格及び報酬等の調査	小出ボランティアセンター
第2回	10月25日	令和6年10月からの短時間労働者に対する健康保険・厚生年金保険の適用拡大の	小出ボランティアセンター

⑧ 関係機関・団体との連携協力

地域福祉・介護福祉事業の円滑な推進を図るとともに、地域の福祉課題の共有・解決に向け、関係機関・団体との連携・協力を努めました。

ア 保健・医療・福祉ネットワークへの参画

- ・行政・社協・民児協三者懇談会 1回(7/28)
- ・魚沼市空家等対策協議会 1回(6/15)
- ・魚沼市高齢者等見守り支援ネットワーク会議 1回(8/30)
- ・魚沼市自立支援協議会 全体会 1回(5/23)
- ・魚沼市自立支援協議会 権利擁護部会 2回(6/20、7/31、11/21)
- ・在宅医療推進センターワーキングチーム会議 1回(5/30)
- ・魚沼市いのちを支える自殺対策推進会議 1回(7/24)
- ・包括ケアPFM会議 5回(4/18、5/16、6/20、7/18、9/19)
- ・魚沼市相談関係機関ネットワーク会議 1回(5/19)
- ・楽想講座ワーキングチーム会議 3回(6/27、7/26、9/26)

イ その他の関係機関・関係団体との連携、協力等

魚沼市民生委員児童委員協議会、家族会、手をつなぐ育成会、遺族会、老人クラブ連合会、魚沼ライオンズクラブ、魚沼青年会議所ほか

⑨ 共同募金事業への協力

会費同様、共同募金額の実績が年々減少してきているため、配分金で実施している事業の必要性を広くPRするとともに、より効率的な事業執行に努めました。

ア 魚沼市共同募金委員会運営委員会の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度魚沼市共同募金委員会事業報告及び収入支出決算について ・令和5年度魚沼市共同募金委員会事業計画(案)及び収入支出予算(案)について ・令和5年度魚沼市共同募金委員会推進計画(案)について ・新潟県共同募金会魚沼市共同募金委員会共同募金助成要綱の一部改正について ・魚沼市共同募金委員会助成審査委員会委員の選任について 	小出ボランティアセンター
第2回	6月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・魚沼市共同募金委員会運営委員会委員の選任について ・魚沼市共同募金委員会監査人の選任について 	小出ボランティアセンター
第3回	11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金 福祉団体等活動費助成事業募集要項の変更について 	小出ボランティアセンター

イ 魚沼市共同募金委員会助成審査委員会の開催

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月20日	福祉団体等の助成申請内容審査について	小出ボランティアセンター

ウ 新潟県共同募金会定時評議員会の開催

	期 日	内 容	開催場所
定 時	6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告に関する件 ・令和4年度決算に関する件 ・役員（理事・監事）の選任に関する件 ・令和5年度赤い羽根ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援助成に関する件 	新潟ユニゾンプラザ

エ 市町村共同募金会事務局長会議

	期 日	内 容	開催場所
定 時	8月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告・決算について ・令和5年度共同募金目標額・募金（助成）計画について ・令和5年度赤い羽根ポストコロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援助成の報告について 	オンライン

⑩その他

期 日	内 容
6月22日	介護人材確保・定着支援に係る事業所訪問
8月9日	地域密着型特別養護老人ホーム開設説明会（堀之内公民館）
10月10日	介護人材確保 外国人人材に関する勉強会（市役所本庁舎）
12月5日	ハッピーパートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）に登録
12月18日	高齢者雇用アドバイザー・70歳雇用推進プランナーによる訪問
1月24日	高齢者雇用アドバイザー・70歳雇用推進プランナーによる訪問

(2) ふれあい講座事業

地域住民・自治会・団体等が主催する集会等に職員を講師として派遣し、地域福祉活動に関する説明又は職務に関連して習得した専門知識・技能を活かした講座等を行いました。

	期 日	講 座 名	申込団体	参加者数
1	5月24日	高齢者疑似体験	湯之谷中学校 3年生	56人
2	5月29日	福祉についての講話	湯之谷小学校 4年生	38人
3	6月9日	高齢者疑似体験	湯之谷小学校 4年生	41人
4	7月4日	こころとくらしを支える ふくしのしごと	大沢さわやかひろば (湯中3年生と交流)	45人
5	7月13日	高齢者疑似体験	小出中学校 1年生	82人
6	9月7日	配食弁当、絵手紙の作成	小出小学校 1年生	71人

	期 日	講 座 名	申込団体	参加者数
7	9月22日	健康づくりに関する話	たなか茶話会	17人
8	10月25日	高齢者疑似体験	小出特別支援学校高等部	8人
9	1月19日	高齢者とのコミュニケーションスキル	守門地区民児協 入広瀬地区民児協	24人
合 計				382人
前年度(4回)				50人

(3) 火災等被災者への見舞い

火災等の発生により直接被害を受けた個人又は世帯に対し、見舞金を支給しました。

- ・全焼 4件（前年度 1件）
- ・半焼 3件（前年度 0件）
- ・床上浸水 0件（前年度 0件）

【事業の成果】

堀之内社会福祉センターは本会の基本財産となっていましたが、旧堀之内療養病棟を再編した高齢福祉施設の整備にあたり、7月1日付けで魚沼市に無償譲渡を行いました。

自然災害や感染症のまん延等、不測の事態が発生しても、重要な業務や福祉サービスを中断することなく、緊急時に迅速な対応が出来るよう、災害時の職員参集マニュアルの見直しと業務継続計画（BCP）の策定に向け、職員のプロジェクトチームを設置し、検討・協議を進めました。

【課題・方針】

適切な法人運営と効率的な事業経営を行うため、財務・人事管理をはじめ組織全体にかかわる企画や調整など、本会事業全体のマネジメント業務を行います。また、人材育成について議論・検討を行い、計画的かつ組織的な人材育成を推進していくため「人材育成基本方針（仮称）」の策定に次年度、取り組みを行います。

法人運営事業

単位:円

科 目	法人運営		
	予算	決算	差異
会費収入	2,986,000	2,807,000	179,000
経常経費寄附金収入	600,000	1,073,410	△ 473,410
経常経費補助金収入	33,121,000	32,313,983	807,017
受取利息配当金収入	5,000	3,520	1,480
その他の収入	1,952,000	328,163	1,623,837
事業活動収入計 (1)	38,664,000	36,526,076	2,137,924
人件費支出	32,159,000	31,053,953	1,105,047
事務費支出	11,879,000	8,969,509	2,909,491
事業活動支出計 (2)	44,038,000	40,023,462	4,014,538
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 5,374,000	△ 3,497,386	△ 1,876,614
固定資産売却収入	0	1,210,000	△ 1,210,000
施設整備等収入計 (4)	0	1,210,000	△ 1,210,000
固定資産取得支出	100,000	100,000	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,729,000	1,728,562	438
施設整備等支出計 (5)	1,829,000	1,828,562	438
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 1,829,000	△ 618,562	△ 1,210,438
積立資産取崩収入	40,000,000	0	40,000,000
事業区分間繰入金収入	3,393,000	3,213,000	180,000
拠点区分間繰入金収入	4,173,000	4,173,000	0
その他の活動による収入	36,000	36,000	0
その他の活動収入 計 (7)	47,602,000	7,422,000	40,180,000
基金積立資産支出	0	1,298	△ 1,298
積立資産支出	10,000,000	800	9,999,200
事業区分間繰入金支出	3,477,000	0	3,477,000
その他の活動による支出	960,000	940,800	19,200
その他の活動支出 計 (8)	14,437,000	942,898	13,494,102
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	33,165,000	6,479,102	26,685,898
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	25,962,000	2,363,154	23,598,846

2. 地域福祉事業

(1) 地域福祉事業

① 相談支援体制の充実・強化

(支所別相談件数) ※個別支援のみ

係・支所	電話	訪問	来所	その他	計
堀之内	787件	321件	162件	195件	1,465件
小出・湯之谷	345件	150件	139件	23件	657件
広 神	1,589件	389件	531件	124件	2,633件
守門・入広瀬	641件	445件	184件	270件	1,540件
権利擁護支援係	941件	593件	280件	66件	1,880件
計	4,303件	1,898件	1,296件	678件	8,175件

前年度 7,637件

② ICTの利活用

職員がkintoneを使いこなせるようにするために、研修会を実施しました。

期 日	内 容	講 師
5月30日	「データの活用」	HUGUKUMI 小島 寛 氏
9月 6日	「文京区社協でのkintone活用実践」	文京区社会福祉協議会 係長 根本 浩典 氏
9月26日	「アプリを作ってみよう」	HUGUKUMI 小島 寛 氏

③ 福祉関係団体との連携・協働

福祉関係団体の事務局を担当し、各団体の業務が円滑に進められるよう支援しました。

所管部署	団体等
堀之内支所	堀之内地区遺族会、堀之内地区手をつなぐ育成会、 堀之内地区民生委員児童委員協議会
小出・湯之谷支所	湯之谷地区遺族会、小出地区民生委員児童委員協議会、 湯之谷地区民生委員児童委員協議会、魚沼市ボランティア連絡会
広神支所	魚沼市家族会、魚沼市遺族会、広神地区遺族会、 広神地区手をつなぐ育成会、広神地区民生委員児童委員協議会
守門支所 入広瀬支所	入広瀬地区手をつなぐ育成会、守門地区民生委員児童委員協議会、 入広瀬地区民生委員児童委員協議会
地域福祉係	魚沼市民生委員児童委員協議会、魚沼市主任児童委員協議会、

④ 企業等の社会貢献活動支援

地域福祉のすそ野を広げるため、企業等多様な主体との関係構築に取り組みました。

企業等名	内容	備考
魚沼ものづくり振興協議会	オープンファクトリー参加	小出高校生4人 小中学生の親子3人
魚沼ものづくり振興協議会	「まち」の仕事発見塾参加	

【事業の成果】

支所ごとに地域担当を配置し、住民からの相談に迅速かつ丁寧に対応しました。

第3次魚沼市地域福祉推進計画を普及するためのプロジェクトチームを設置し、計画の普及版を作成しました。

ICTの利活用では、kintoneによる記録管理で、離れた支所間での情報共有を図りました。

【課題・方針】

地域の身近な相談窓口として、住民からの様々な相談に丁寧に対応し、その相談内容を分析して地域課題が見える化します。

地域に出向き、第3次魚沼市地域福祉推進計画普及版を使って、住民の地域福祉の意識醸成を図ります。

地域福祉事業

単位:円

科 目	地域福祉		
	予算	決算	差異
会費収入	6,514,000	6,514,000	0
経常経費寄附金収入	250,000	2,166	247,834
経常経費補助金収入	56,795,000	55,088,017	1,706,983
その他の事業収入	80,000	57,500	22,500
事業活動収入計 (1)	63,639,000	61,661,683	1,977,317
人件費支出	58,264,000	53,723,954	4,540,046
事業費支出	2,629,000	1,913,471	715,529
事務費支出	412,000	367,073	44,927
事業活動支出計 (2)	61,305,000	56,004,498	5,300,502
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	2,334,000	5,657,185	△ 3,323,185
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	193,000	192,071	929
施設整備等支出計 (5)	193,000	192,071	929
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 193,000	△ 192,071	△ 929
事業区分間繰入金収入	159,000	0	159,000
拠点区分間繰入金収入	1,273,000	1,273,000	0
その他の活動による収入	0	4,500	△ 4,500
その他の活動収入 計 (7)	1,432,000	1,277,500	154,500
事業区分間繰入金支出	1,174,000	685,017	488,983
拠点区分間繰入金支出	17,000	0	17,000
その他の活動による支出	1,669,000	1,438,440	230,560
その他の活動支出 計 (8)	2,860,000	2,123,457	736,543
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 1,428,000	△ 845,957	△ 582,043
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	713,000	4,619,157	△ 3,906,157

(2) 成年後見支援事業

ア 相談及び申立手続きの支援

相談件数 (延べ件数)

内 容	件数
権利擁護に関する相談	19 件
申立て支援	7 件
親族後見支援	1 件
後見人等候補者の依頼 (受任依頼)	6 件
継続支援 (定期訪問、諸手続き)	495 件
計	528 件

イ 普及啓発

a 成年後見勉強会・講師派遣

- ・魚沼学園魚沼更生園保護者会 (10/23)
- ・魚沼市手をつなぐ育成会 (11/11)

b 啓発映画上映会

期 日	内 容	開催場所	参加者数
7月17日	映画『ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえり お母さん～』	小出郷文化会館	205人

ウ 法人後見等の受任

a 受任状況

	後見	保佐	補助	計
認知症高齢者	2	1	2	5
知的障害者	9	1	0	10
精神障害者	0	0	1	1
計	11	2	3	16

b 任意後見契約 1件

c 法人後見事業運営委員会

	期 日	内 容
第1回	5月25日	令和4年度事業報告 受任ケースの報告について
第2回	8月10日	受任に関する審査(3件) 受任ケースの報告について
第3回	11月16日	受任に関する審査(2件) 受任ケースの報告について
第4回	2月15日	受任に関する審査(1件) 受任ケースの報告について

c 職員研修等

- ・全国権利擁護支援ネットワーク北信越ブロック交流会(6/7 オンライン)
- ・成年後見制度担当者研修(6/22 新潟ユニゾンプラザ)
- ・全国権利擁護支援ネットワーク中核機関の役割と実務研修(8/7 オンライン)
- ・福祉関係者のための権利擁護・成年後見講座【基礎編】(8/21 オンライン)
- ・身寄りのない人を多機関で考えるシンポジウム(2/17 オンライン)

エ 法人後見支援員養成

- ・権利擁護サポーター養成講座【全6回】開催場所：小出ボランティアセンター

期 日	内 容	受講者数
11月2日	権利擁護支援	28人
11月22日	対象者理解(対人援助の基本)	30人
12月14日	介護保険制度・障害者総合支援法	30人
1月11日	公的な女性・給付・減免等の支援策	27人
2月1日	権利擁護の制度	29人
2月22日	意思決定支援	28人

オ 身寄りのない人への支援

a ガイドライン普及（講師派遣）

期 日	依頼団体	開催場所
8月 7日	全国権利擁護支援ネットワーク (中土佐町社協)	オンライン
9月 15日	長野県社会福祉協議会	オンライン
11月 14日	全国権利擁護支援ネットワーク(曾於市社協)	曾於市
12月 2日	三県社協職員合同研修会(埼玉・群馬・新潟)	守門健康センター
12月 12日	小千谷市地域自立支援協議会	小千谷市
12月 21日	久慈市地域包括支援センター	久慈市
3月 9日	新潟県医療ソーシャルワーカー協会	三条市

b 支援策検討

期 日	内容	場所
6月8日	先進地視察(任意後見事業)	長野市社会福祉協議会
9月5日	第1回身寄りのない人の死後の課題に関する検討会	ボランティアセンター
10月3日	第2回身寄りのない人の死後の課題に関する検討会	ボランティアセンター
1月17日	第3回身寄りのない人の死後の課題に関する検討会 先進事例視察(ZOOM)	ボランティアセンター

【事業の成果】

法人後見の新規受任は3件あり、確実に受任件数は増加しています。権利擁護サポーター養成講座を開催し、法人後見支援員の養成を図りました。また、任意後見を受任できるよう実施要綱を改正しました。

身寄りのない人の支援については、相談会においてニーズが多かった身元保証や死後対応への具体的な支援策を検討しました。

【課題・方針】

受任件数が増加している中、法人後見の受け皿強化のため、法人後見支援員から活動してもらうことで、地域の権利擁護支援体制の拡充を図ります。

地域福祉事業

単位:円

科 目	成年後見支援		
	予算	決算	差異
受託金収入	990,000	990,000	0
事業収入	3,190,000	3,169,000	21,000
その他の収入	60,000	236,842	△ 176,842
事業活動収入計 (1)	4,240,000	4,395,842	△ 155,842
人件費支出	1,583,000	727,753	855,247
事業費支出	2,502,000	2,317,277	184,723
事務費支出	361,000	313,025	47,975
事業活動支出計 (2)	4,446,000	3,358,055	1,087,945
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 206,000	1,037,787	△ 1,243,787
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
固定資産取得支出	250,000	249,050	950
施設整備等支出計 (5)	250,000	249,050	950
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 250,000	△ 249,050	△ 950
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 456,000	788,737	△ 1,244,737

(3) 共同募金配分金事業

① 地域の茶の間事業の実施

高齢者や障害者、子育て中の親子等が、地域の中で気軽に出かけられる小規模な憩いの場づくりを目指し、町内（集落）、民生児童委員、ボランティア等によって行われる交流活動を支援しました。

活動費の助成 58 団体（前年度 59 団体）

団 体 名	地区	開催回数	延参加者数
じよんのび会	堀之内	18 回	142 人
脳はつらつスマイルクラブ	堀之内	23 回	223 人
地域の茶の間 “寄らっしゃい”	堀之内	6 回	72 人
城下お茶会	堀之内	10 回	305 人
城下はつらつ会	堀之内	12 回	159 人
白山茶話会	堀之内	5 回	52 人
すみれ会	小 出	2 回	41 人
浦町地域友愛ボランティアの会	小 出	8 回	154 人
たんぼぼの会	小 出	10 回	98 人
羽根川友愛ボランティアの会	小 出	2 回	31 人
青島お茶のみサロン	小 出	3 回	60 人
のんびりサロン	小 出	10 回	193 人
古新田友愛ボランティア	小 出	2 回	24 人
中原友愛ボランティア	小 出	12 回	210 人

団体名	地区	開催回数	延参加者数
干溝茶の間の会	小 出	8回	162人
ほほえみの会	小 出	6回	97人
よりあい伝七	小 出	9回	50人
大浦茶の間会	小 出	3回	43人
十日町茶の間会	小 出	10回	95人
茶の間「ゆうあい」	小 出	12回	245人
じよんのびサロン	湯之谷	10回	172人
大沢さわやかひろば	湯之谷	12回	409人
葎沢みんなの茶の間	湯之谷	12回	153人
湯之谷芋川茶の間会	湯之谷	22回	204人
宇津野こぶし会	湯之谷	9回	77人
結の会	湯之谷	11回	144人
上折立シニアお茶クラブ	湯之谷	15回	75人
雪華の会	湯之谷	17回	135人
なかよし会	湯之谷	9回	74人
たなか茶話会	広 神	12回	197人
親柄老笑会	広 神	11回	99人
雁坂下茶ノ間ノ会	広 神	12回	156人
小平尾茶の間会	広 神	12回	226人
ひまわりの茶の間	広 神	8回	98人
和田絆の会	広 神	20回	170人
ふれあい茶の間	広 神	22回	169人
はつらつ会	広 神	49回	459人
池平の茶の間	広 神	11回	93人
あかっちクラブ	守 門	11回	237人
大倉達者会	守 門	2回	22人
西村お茶会	守 門	12回	166人
宮原いきいきクラブ	守 門	12回	194人
大谷内きらくサロン	守 門	4回	119人
福山新田よらん会	守 門	22回	259人
渋川お達者会	守 門	10回	151人
長鳥長生き会	守 門	12回	214人
荒貴ふれあいの会	守 門	11回	79人
笑宿	守 門	10回	52人
二分お茶の会	守 門	11回	85人
陽だまりサロン	入広瀬	9回	132人
柿の木お茶会サロン	入広瀬	9回	43人
大栃山楽茶の会	入広瀬	12回	150人
とわの会	入広瀬	12回	94人
平野又お茶友の会	入広瀬	9回	114人

団体名	地区	開催回数	延参加者数
横根茶の間	入広瀬	8回	96人
仲良し会	入広瀬	9回	78人
大白川お茶会	入広瀬	11回	141人
風小僧	入広瀬	7回	56人
合計(58団体)		663回	8,212人
前年度(56団体)		522回	5,924人

【事業の成果】

利用対象者を65歳以上に限らず子供にまで拡大し、だれもが気軽に集まり、交流することができる地域の茶の間の活動を支援しました。

【課題・方針】

高齢化で会の運営がむずかしくなり解散した団体があります。

地域の茶の間が地域のニーズに合っている居場所なのかを考えながら、必要であれば要綱も見直しながら、地域での孤立、住みよい福祉の町づくりを推進していきます。

② ふれあい福祉フェスティバル

住民に福祉を身近に感じてもらうことを目的に、市内の福祉関係者、ボランティア、その他団体と協働で開催しました。

実施日	10月14日(土) 10:00~13:00	
会場	小出ボランティアセンター	
内容	①ふくびいとじゃんけん大会 ②ステージイベント 呼夢三線うおぬま 様 フラハラウホアピリ 様 魚沼マジッククラブ 様 フラワーポット 様 魚沼産☆夢ひかり 様	③ボランティア活動紹介コーナー ④施設・団体活動紹介コーナー(プロジェクター投影) ⑤ふれあいテント(福祉施設物販、出店、展示、地域食堂ほか) ⑥ふくびいと抽選会

【事業の成果】

新型コロナの影響で5年ぶりの開催となりました。天候にも恵まれ、子どもから高齢者まで大勢の方から参加いただき、福祉を身近に感じてもらうとともに、世代間交流の場にもなりました。

【課題・方針】

アンケートの結果では、全てのコーナーにおいて肯定的な感想が多かったです。要望として、フリーマーケットやアルパカの要望のほか、時間が短かったという意見がありました。

③ 新入学生記念品贈呈事業

新入学児童に対し、新入学のお祝いと登下校時の交通安全の願いを込めて、記念品（体操着袋）を贈呈しました。

学校名	個数	学校名	個数
堀之内小学校	28 個	広神東小学校	24 個
宇賀地小学校	10 個	広神西小学校	19 個
小出小学校	59 個	須原小学校	13 個
伊米ヶ崎小学校	13 個	小出特別支援学校	5 個
湯之谷小学校	42 個		

【事業の成果】

ニーズに合わせた記念品を検討するため、各小学校へアンケート調査を実施しました。

【課題・方針】

今年度は学校向けのアンケート調査でしたが、保護者向けのアンケート調査も出来ると良い。

④ ふれあい配食サービス事業

高齢者や障害者に対し、配食サービスを実施することにより見守りと安否確認を行いました。

ア 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合計	前年度
4月	47人	57人	27人	50人	49人	20人	250人	232人
5月	49人	58人	27人	49人	53人	19人	255人	232人
6月	46人	57人	30人	51人	52人	19人	255人	235人
7月	45人	55人	31人	53人	53人	19人	256人	230人
8月	40人	53人	30人	52人	50人	19人	244人	233人
9月	39人	51人	29人	53人	51人	19人	242人	233人
10月	39人	51人	32人	54人	51人	20人	247人	234人
11月	35人	52人	31人	53人	51人	21人	243人	242人
12月	38人	57人	35人	53人	55人	22人	260人	241人
1月	40人	54人	36人	50人	53人	21人	254人	245人
2月	47人	53人	36人	48人	53人	21人	258人	246人
3月	48人	54人	35人	49人	54人	21人	261人	248人

【事業の成果】

週1回（堀之内：木曜日、小出・湯之谷・広神：金曜日、守門・入広瀬：水曜日）、弁当を届けることで、要援護世帯の見守りと、孤独感の防止につながりました。

【課題・方針】

物価高騰に伴い、食材費も資材費も経費が大きくなっている中、利用者も増加傾向にあり、財源の確保が課題です。共同募金の増加も見込めない中、事業継続のための検討をしていきます。

⑤ 障害者ふれあいクリスマス会

実施日	12月9日(土) 10:00~11:30
会 場	堀之内公民館「大ホール」
内 容	軽体操(エンジョイススポーツクラブ魚沼)、 ミニコンサート(あんさ&おっさ)、ビンゴゲーム、プレゼントタイム
参加者	利用者等75名、 協スタッフ(民生委員)11名

【事業の成果】

外出の機会の少ない施設入所者には、他の施設入所者やスタッフとの交流の場となり、大変喜ばれました。

【課題・方針】

各施設でクリスマス会を実施している現状があり、今後も社協主催での開催が必要かどうか施設や当事者の声を聞きながらニーズに合った事業を検討していきます。

⑥ その他(広報誌の発行)

「社協だより」において、共同募金事業のPRを行いました。

地域福祉事業

単位:円

科 目	共同募金配分金		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	420,000	328,211	91,789
経常経費補助金収入	6,775,000	6,774,373	627
事業収入	3,540,000	3,589,350	△ 49,350
事業活動収入計(1)	10,735,000	10,691,934	43,066
事業費支出	7,466,000	7,442,322	23,678
事務費支出	162,000	162,000	0
その他の支出	785,000	784,512	488
助成金支出	1,852,000	1,851,000	1,000
事業活動支出計(2)	10,265,000	10,239,834	25,166
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	470,000	452,100	17,900
施設整備等収入計(4)	0	0	0
固定資産取得支出	470,000	452,100	17,900
施設整備等支出計(5)	470,000	452,100	17,900
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 470,000	△ 452,100	△ 17,900
その他の活動収入 計(7)	0	0	0
その他の活動支出 計(8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0
予 備 費(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(4) ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する情報発信や、資機材の貸し出しなどを行うことで、ボランティア活動の推進を図りました。

① ボランティア活動への参加状況

ア ボランティア登録・保険加入

a ボランティア登録者数 783人

b ボランティア保険加入件数

保 険 名	加入件数
ボランティア活動保険	21件
ボランティア活動行事保険	7件
福祉サービス総合補償	1件

イ ボランティアセンターだよりの発行

19号(6月)、20号(9月)、21号(2月)を発行しました。

ウ ボランティア活動器材の貸出

ポッチャ(88件)、歌パズル(秋冬)(1件)、低床玉入れ(8件)、黒ひげ危機一髪(12件)、お手玉(3件)、つかみ取りBOX(1件)、紙芝居大(7件)、紙芝居小(2件) ノーパンクボール(1件)、ビンゴ(7件)、レク本(1件)、歌唱カルタ(2件)、トトあわせ(1件)

エ 24時間TVチャリティー募金活動への協力

募金受付日：令和5年8月28日

募金箱：14,042円(前年度 18,002円)

受付窓口：堀之内、小出・湯之谷、広神、守門の各支所

② 福祉教育の推進

ア 情報提供・ふれあい講座

実施日	実施場所	テーマ
7月 4日	大沢さわやか広場	「社協の組織、活動の紹介」 「湯之谷中学校生徒による地域交流」

イ ボランティアスクール等の開催(小出中学校)

a 事前学習会(6/30)

ボランティアの心構え

活動メニューの紹介と活動のポイント

b 開校式(7/19)

受入れ施設・団体代表者との対面と事前打合せ

c 取組内容

実施日：7月23日～8月20日

内 容：夏休み期間を活用したボランティア活動を市内の施設・団体で行う。

参加人数：1年生87名・3年生94名・2年生(希望者)6名 合計187名

受入施設・団体：23団体

ウ 小中学校の福祉学習への協力

実施日	学校名	テーマ
5月29日	湯之谷小学校4年生	「福祉についてのお話」
6月9日	湯之谷小学校4年生	「高齢者疑似体験」
5月24日	湯之谷中学校3年生	「福祉についての講話と高齢者疑似体験」
7月4日 7月5日	湯之谷中学校3年生	「配食サービス利用者へのメッセージカードの作成」
7月13日	小出中学校	「福祉についての講話と高齢者疑似体験」
9月7日	小出小学校1年生	「福祉についての講話と配食サービス利用者への絵手紙作成」
9月27日	伊米ヶ崎小学校2年生	「赤い羽根共同募金について」
10月25日	特別支援学校高等部	「福祉についての講話と高齢者疑似体験」

③ 災害時の支援体制の充実

ア 災害対応のための情報交換会

三魚沼地区社会福祉協議会災害担当者打合せ会（9/7）

イ 平常時における関係機関との連携強化

小千谷市社協災害ボランティアセンター設置訓練（10/31）

ウ 災害ボランティアセンター設置マニュアルの見直し

災害協定を結んでいる文京区社協と、ICTを活用した遠隔地支援について話し合いを行いました（9/6）

④ 住民参加型在宅福祉サービス事業（あいほうし隊）

ア 相談及び調整

a 実施件数

	件数
本年度	438件
前年度	226件

b 登録状況

	利用者	活動者
本年度	81人	90人
前年度	61人	82人

c 活動内容

内 容	本年度	前年度
電球換え	1件	1件
灯油入れ	21件	8件
家具の移動	5件	1件
簡単な修繕大工	0件	0件
掃除	269件	121件
草取り	33件	33件

内 容	本年度	前年度
花の水やり	5件	2件
ゴミ出し	97件	16件
見守り、話し相手	142件	40件
通院介助	12件	14件
代筆・代読	1件	3件
買い物	59件	56件
薬とり	41件	17件
日用品等の代金を支払う手続き	2件	3件
その他	65件	30件
合 計	753件	345件

※その他・・・食器洗い、洗濯、裁縫、冬囲い、除草剤散布、雑木の伐採 ほか

【事業の成果】

相談受付件数は増加しており、令和5年度は23名の利用登録を新規で受付しました。

市内の訪問介護事業所が減少したことにより、あいほうし隊による地域の支え合い活動への期待が高まっています。活動内容としては、掃除やゴミ出しなどの家事支援が増加しています。

【課題・方針】

地域によっては活動者がみつからず、調整（マッチング）に支障をきたしています。活動者の確保とあわせて、より使いやすいシステムへの見直しを進めます。

地域福祉事業

単位：円

科 目	ボランティアセンター		
	予算	決算	差異
事業収入	319,000	313,340	5,660
その他の事業収入	98,000	75,400	22,600
事業活動収入計 (1)	417,000	388,740	28,260
事業費支出	733,000	617,184	115,816
事務費支出	60,000	7,960	52,040
事業活動支出計 (2)	793,000	625,144	167,856
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 376,000	△ 236,404	△ 139,596
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 376,000	△ 236,404	△ 139,596

3. 小口資金貸付事業

低所得者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助を行い、経済的自立や生活の安定を支援しました。

	貸付件数	貸付金額
本年度	6件	180,000円
前年度	4件	120,000円

【事業の成果】

次の収入までのつなぎやライフラインの維持のために利用され、生活再建の一助となっています。また、計画的な償還が出来ず滞納になっている世帯に対しては、生活状況を確認し必要な援助を行いました。

【課題・方針】

長期滞納者に対しては、民生児童委員や関係機関等と協力し、相談・支援を継続的に取り組んでいきます。

小口資金貸付金事業

単位：円

科 目	小口資金貸付		
	予算	決算	差異
貸付事業収入	300,000	280,000	20,000
事業活動収入計 (1)	300,000	280,000	20,000
事業費支出	10,000	4,542	5,458
貸付事業支出	290,000	180,000	110,000
事業活動支出計 (2)	300,000	184,542	115,458
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	95,458	△ 95,458
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	95,458	△ 95,458

4. 受託事業

(1) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業 県社協から受託）

①実施状況

a 利用者数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本年度	21人	24人	24人	69人
前年度	18人	25人	20人	63人

b 生活の場、収入の状況

	自 宅	病 院	施設 (GH)	生活保護
認知症高齢者	14人	2人	5人	1人
知的障害者	8人	0人	16人	2人
精神障害者	15人	0人	9人	8人
合 計	37人	2人	30人	11人

c 契約件数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本年度	5件	2件	6件	13件
前年度	9件	3件	3件	15件

d 終了件数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本年度	2件	3件	2件	7件
前年度	4件	1件	2件	7件

e 相談援助件数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明	計
本年度	878件	1047件	685件	7件	2,617件
前年度	435件	808件	602件	17件	1,862件

f 生活支援員 登録者数 43人 (前年度 39人)

イ 会議・研修等

- ・第1回担当部課長会議 (6/29) ※オンライン
- ・生活支援員研修Ⅱ スキルアップ編 (9/8) ※オンライン (参加者 23人)
- ・新潟県福祉サービス運営適正化委員会実施状況調査 (書面調査)
- ・専門員研修Ⅱ スキルアップ編 (10/30~31) ※10/30 オンライン、
10/31 燕三条地場産業振興センター
- ・専門員・福祉事務所職員研修会 (2/27) ※新潟ユニソンプラザ

【事業の成果】

事業利用のメリットが関係機関とも共有されてきたことから、生活保護ケースワーカー、ケアマネジャー、障害福祉事業所など、幅広い分野からの相談・問い合わせが増えており、契約件数も増加傾向にあります。相談が増えても、事業利用が必要な人に、適時適切に支援が届くよう、各支所に専門員を配置し、きめ細かい相談支援を展開しました。

【課題・方針】

各支所に専門員を配置し相談体制を強化したが、経験年数の少ない専門員のスキルアップが課題です。本人の尊厳を尊重し、意思決定を支援するという本事業の基本姿勢を、すべての専門員が共通理解するよう、計画的な職員育成に努めます。

受託事業

単位:円

科 目	福祉サービス利用援助		
	予算	決算	差異
受託金収入	5,886,000	5,238,000	648,000
事業収入	979,000	976,600	2,400
その他の事業収入	0	40,966	△ 40,966
事業活動収入計 (1)	6,865,000	6,255,566	609,434
人件費支出	4,095,000	3,901,546	193,454
事業費支出	2,110,000	1,833,067	276,933
事務費支出	295,000	156,393	138,607
事業活動支出計 (2)	6,500,000	5,891,006	608,994
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	365,000	364,560	440
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
その他の活動による支出	365,000	364,560	440
その他の活動支出 計 (8)	365,000	364,560	440
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 365,000	△ 364,560	△ 440
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(2) 生活困窮者自立支援事業 (市から受託)

生活保護に至る前の段階から生活困窮者の相談に対応し、抱える課題を整理するとともに、そのおかれている状況や本人意思を十分に確認することを通じて、個々の状態にあった支援を包括的に行い、生活困窮者が困窮状態から早期脱却できるよう支援を行いました。

① 自立相談支援事業

ア 支援対象者の生活および就労に関する相談支援

- ・新規相談件数：11件 (男性6件、女性5件)
- ・相談内容：経済的困窮、家計管理、居住支援 等

イ 法律相談の実施 (新潟県弁護士会所属弁護士)

- ・開設回数：24回 (毎月第2・4火曜日)
- ・会 場：小出ボランティアセンター「2階 相談室」
- ・相談件数：85件 (前年度 80件)
- ・相談内容：相続、金銭貸借 (サラ金以外)、土地建物、離婚 等

ウ 支援調整会議の開催 (4月と11月は参集範囲を拡大して開催、9月は中止)

- ・開催回数：11回 (4/27、5/23、6/27、7/25、8/22、10/24、11/28、12/26、1/23、2/26、3/26)

エ フードバンク

協力員として登録していただいた地域の方から、食材の提供を受け、生活困窮者に届けました。

	本年度	前年度
提供回数	69件	74件
協力員登録者数	73人	74人

オ 情報発信

- a 相談カレンダー作成
- b 市報うおぬまにて相談窓口の周知

② 就労準備支援事業

ア ひきこもり支援・居場所づくり

a 学び場ピアサポ（奇数月第2水曜日）

毎回テーマを決めて、そのテーマに沿って学び合い・語り合うことで、人や社会とのつながりを紡ぐ居場所です。

	本年度	前年度
開催回数	6回	6回
参加延人数	17人	20人

※実参加人数 4人

b 女性のためのぴあさぽ（偶数月第2水曜日）

学び場ピアサポの対象を女性に限定して開催しました。

	本年度	前年度
開催回数	6回	5回
参加延人数	21人	8人

※実参加人数 10人

【作品展の開催】

折り畳み傘を使ったエコバックや布で作った草履など、参加者のハンドメイド作品やイラスト、折り紙などを展示しました。

開催日：9月1日（金）～25日（月） 会場：伊米ヶ崎公民館 来場者数：91名

c ちょびん（毎週土曜日、キャリア・ステップ魚沼教室）

就労困難者やひきこもり状態にある方が、気軽に集い話し合える居場所です。

	本年度	前年度
開催回数	35回	41回
参加延人数	38人	35人

※実参加人数 7人

d zero ジョブ（毎週金曜日、小出ボランティアセンター）

中間的就労の場として開催（内職、点字名刺・缶バッジ作成など）

	本年度	前年度
開催回数	45回	49回
参加延人数	194人	132人

※実参加人数 11人（うち新規参加者数 6人）

e one ジョブ（不定期開催）

zero ジョブを守門入広瀬地区で開催（点字名刺・缶バッジ作成など）

	本年度	前年度
開催回数	11 回	38 回
参加延人数	11 人	38 人

※実参加人数 2 人

③ 家計改善支援事業

家計状況の「見える化」と根本的な課題の把握を行い、相談者が自ら家計を管理できるように支援しました。

（支援内容）

- ・家計表の作成などひと月単位の家計の現状を把握
- ・レシート内容の確認など大まかな支出内容を把握
- ・債務相談のために法律関係者に同行支援
- ・給付制度等の利用に向けた申請支援（にいがたセーフティーネット事業の申請 3件）

④ 職員研修等

- ・日本福祉大学伴走型支援基礎講座（オンライン全 15 回、スクーリング 11/25～26）
- ・新任支援員等研修会（12/19 オンライン）
- ・ひきこもり支援ネットワーク会議（3/1 新潟ユニゾンプラザ）

【事業の成果】

生活困窮者に対し、十分な案内や支援を実施するため、関係機関との連携強化を図りました。居場所「学び場ピアサポ」「女性のためのぴあさほ」や、中間的就労の場としての「zero ジョブ」「one ジョブ」では、継続的に参加される方が多くみられ、居心地のよい居場所と役割がある場所となっています。

【課題・方針】

複雑多様化する生活課題に適切対応するため、研修や事例検討を通して相談員のスキルアップを図ります。

受託事業

単位:円

科 目	生活困窮者自立支援		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	30,000	14,004	15,996
受託金収入	18,040,000	18,040,000	0
事業活動収入計 (1)	18,070,000	18,054,004	15,996
人件費支出	13,883,000	13,873,662	9,338
事業費支出	3,065,000	3,069,332	△ 4,332
事務費支出	719,000	717,089	1,911
事業活動支出計 (2)	17,667,000	17,660,083	6,917
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	403,000	393,921	9,079
その他の活動による収入	50,000	59,792	△ 9,792
その他の活動収入 計 (7)	50,000	59,792	△ 9,792
その他の活動による支出	453,000	453,713	△ 713
その他の活動支出 計 (8)	453,000	453,713	△ 713
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 403,000	△ 393,921	△ 9,079
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(3) 生活福祉資金貸付事業（県社協から受託）

低所得者世帯等に対して資金の貸し付けと相談援助を行い、生活再建を支援しました。

① 貸付状況

a 生活福祉資金

	貸付件数	貸付金額
本年度	0 件	0 円
前年度	0 件	0 円

b 緊急小口資金等の特例貸付（新型コロナウイルス） ※令和4年9月で終了

② 生活福祉資金貸付調査委員会の開催 2回（7/20、1/18）

【事業の成果】

新型コロナによる特例貸付は、令和5年1月から償還が開始され、多くの借受人が償還免除の対象となりました。滞納世帯については、架電等により生活実態の把握を行いました。

【課題・方針】

引き続き、滞納世帯の滞納原因の把握とその解消に向けて、担当民生委員と連携の上、調査・相談を進めます。地区民生委員児童委員協議会に出向き、制度概要の説明を行うことで、更なる連携を深めていきます。

受託事業

単位:円

科 目	生活福祉資金		
	予算	決算	差異
経常経費補助金収入	2,422,000	2,422,000	0
受託金収入	187,000	182,500	4,500
事業活動収入計 (1)	2,609,000	2,604,500	4,500
人件費支出	2,422,000	2,422,000	0
事業費支出	296,000	285,225	10,775
事務費支出	35,000	25,000	10,000
事業活動支出計 (2)	2,753,000	2,732,225	20,775
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 144,000	△ 127,725	△ 16,275
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
事業区分間繰入金収入	17,000	0	17,000
その他の活動収入 計 (7)	17,000	0	17,000
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	17,000	0	17,000
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 127,000	△ 127,725	725

(4) 北部地域包括支援センター運營業務(市から受託)

① 包括的支援事業

ア 総合相談支援業務

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援を行いました。

a 相談実績

	本年度	前年度
実件数	864 件	715 件
延件数	2,324 件	1,775 件
(再掲) 新規	241 件	220 件
(再掲) 時間外対応	40 件	37 件

b 相談形態別(延件数)

	本年度	前年度
電話	1,335 件	1,028 件
来所	168 件	114 件
訪問	329 件	285 件
その他	497 件	348 件
合 計	2,324 件	1,775 件

c 相談者区分別（延件数）

	本年度	前年度
本人	376件	210件
家族	818件	794件
知人	7件	5件
関係機関	1086件	708件
親戚	12件	38件
その他	25件	20件
合計	2,324件	1,775件

d 相談区分（複数回答）（延件数）

	本年度	前年度
介護・生活	1,488件	1,095件
サービス利用	966件	580件
医療	262件	210件
所得・家庭生活	69件	5件
その他	460件	244件
苦情相談	8件	0件
権利擁護	93件	60件
障害関係	6件	4件
介護予防把握	44件	39件
合計	3,396件	2,246件

イ 権利擁護業務

地域の住民や、民生委員児童委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題解決ができない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が地域において安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な支援を行いました。

a 成年後見制度等の活用促進

	本年度	前年度
成年後見活用促進	33件	0件
日常生活自立支援事業利用支援	4件	8件

b 老人福祉施設等への措置の支援

c 高齢者虐待への対応

	本年度	前年度
高齢者虐待通報受付	5件	1件
高齢者虐待相談支援	29件	27件

※高齢者虐待対応ケース会議

開催回数：11回（4/19、5/16、6/14、8/24、10/2、10/18、12/1、12/20、1/17、2/21、3/22）

d 困難事例への対応

e 消費者被害の防止

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者等の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを実現するため、地域における連携・協働の体制づくりや、個々の介護支援専門員に対する支援等を行いました。

a 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築に向けた取り組み

- ・地域ケア個別会議（19回）
- ・自立支援型地域ケア個別会議（市主催）への協力（7/12、11/15）
- ・地域ケア推進会議（市主催）への協力（2/14）
- ・ケアマネジメントスキルアップ研修会 step①（7/5）
- ・ケアマネジメントスキルアップ研修会 step②（10/10、10/11）
- ・ケアマネジメントスキルアップ研修会 step③（1/19）
- ・区分別主任介護支援専門員代表・副代表との企画会議

（4/11、6/7、11/8、1/10、2/8）

エ 介護支援専門員に対する個別支援

- ・相談件数 0件
- ・事例検討会 2件

オ 介護予防ケアマネジメント業務

基本チェックリスト該当者に対して、介護予防および日常生活支援を目的として、その心身の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等適切な事業が包括的・効率的に実施されるよう必要な援助を行いました。

- ・事業対象者 4人（実人数）

② 指定介護予防支援業務

介護保険における、予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用等を行うことができよう支援を行いました。

ア 指定居宅介護予防支援業務（年間延べ数）

	自事業所作成	居宅介護支援事業所委託
予防支援	373件	273件
介護予防ケアマネジメント	221件	85件
合計	594件	358件

- ・自事業所作成（月平均 49.5件）
- ・居宅介護支援事業所委託（月平均 29.8件）

③ 一般介護予防事業

ア 介護予防把握事業

令和5年度末時点で75歳になる高齢者に対し、市が基本チェックリストを配布。

基本チェックリスト該当者のうち、要介護（支援）認定を受けていない者に包括看護職及び市健康増進課保健師が実態把握を行い、フレイル予防に関する啓発や介護予防事業の紹介等を実施しました。

基本チェックリスト該当者 33人（北部包括実態把握人数 18人）

イ 介護予防普及啓発事業

小集団に対し、フレイル対策を中心に市地区担当保健師や専門職と協働で、健康講話を実施しました。

3包括で介護予防ミニ講座を計画、チラシを作成し、希望する団体に実施しています。

- ・大谷内さらくサロン（6/25）
- ・たなか茶話会（9/22）
- ・横根地域の茶の間（9/28）
- ・大柄山楽茶の会（11/10）：包括介護予防ミニ講座として実施
- ・和田脳はつらつ運動教室（2/14、3/13）

ウ 地域介護予防活動支援事業

市介護福祉課および健康増進課担当者と運動を主とする地域の集まり（運動教室）の立ち上げについて話し合いを行いました。

④ その他の事業

包括的支援事業を効果的に実施するための環境整備として、多職種協働による地域包括支援ネットワーク構築に取り組みました。

ア 在宅医療・介護連携推進事業との連携

- ・在宅医療ワーキングチーム会議（5/30、9/6、11/29、3/13）
- ・楽語い講座参加（4/12、4/26、5/17、5/31、6/28、7/12、8/23、9/13、10/11、11/22、12/6、2/7）
- ・楽想講座（6/27、7/26、9/5、9/26、2/6）
- ・専門研修会参加（12/5）
- ・多職種連携検討会（8/9）
- ・医療介護連携研修会（10/25）
- ・医師等多職種連携懇談会（7/12）

イ 生活支援体制整備事業との連携

- ・生活支援体制整備事業関係研修（7/13、2/29）
- ・生活支援体制整備事務局会議への参加（4/26、6/23、7/26、8/7、9/27、11/8、12/12、2/2）
- ・第2層協議体への参加（4/11、10/20、12/5）
- ・生活体制整備事業研修会（7/13、2/29）

ウ 認知症総合支援事業との連携

- ・認知症初期集中支援チーム検討委員会（5/25、9/28）
- ・認知症ケアパス作業部会（6/6）
- ・認知症地域支援・ケア向上事業（書面）

エ ネットワーク構築

- ・小出病院地域連絡会（8/30、1/19）
- ・生活困窮者自立支援事業支援調整会議（4/27）
- ・高齢者見守りネットワーク会議（8/31）
- ・小規模多機能すまいる並柳・リバーサイドすまいる運営推進会議（6回/年）
- ・地域密着ひめさゆり運営推進会議（1回/年）
- ・デイサービスセンター入広瀬運営推進会議（2回/年）

【事業の成果】

北部圏域の地域包括支援センターが設置され3年が経過しました。地域の身近な相談機関として、多岐にわたる相談を受付け対応しています。相談件数は、前年に比較し、実数・延べ数とも増加しています。当事業所に対応できないことは、迅速に適切な機関・制度・サービスに繋ぎ、ワンストップサービスの拠点としての機能を果たしています。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、地域の集まりが再開されたのを機に一般介護予防事業を進めることができました。

また、地域ケア個別会議・事例検討会の開催を積み重ね、地域課題について関係者・地域住民らと共に検討を行い、地域の課題について共有しています。

【課題・方針】

相談内容の分析から見出した「地域の特性」について、関係機関と協働で取り組むべきことを明らかにし、その課題にアプローチしていきます。地域ケア個別会議の機能を活かし「地域づくり」に務めます。また、将来を見据え、市など関係機関と連携し、介護予防に関する活動を推進していきます。

科 目	北部地域包括支援センター		
	予算	決算	差異
受託金収入	26,400,000	26,400,000	0
介護保険事業収入	3,780,000	4,440,180	△ 660,180
その他の事業収入	0	7,200	△ 7,200
事業活動収入計 (1)	30,180,000	30,847,380	△ 667,380
人件費支出	22,425,000	21,379,457	1,045,543
事業費支出	6,957,000	4,777,758	2,179,242
事務費支出	632,000	245,898	386,102
事業活動支出計 (2)	30,014,000	26,403,113	3,610,887
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	166,000	4,444,267	△ 4,278,267
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
拠点区分間繰入金支出	5,446,000	5,446,000	0
その他の活動による支出	72,000	72,000	0
その他の活動支出 計 (8)	5,518,000	5,518,000	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 5,518,000	△ 5,518,000	0
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 5,352,000	△ 1,073,733	△ 4,278,267

(5) 聴覚障害者等コミュニケーション支援事業(市から受託)

① 派遣状況

	本年度	前年度
医療機関	0件	0件
公的機関	0件	0件

	本年度	前年度
就 労	0件	0件
会議・研修	0件	0件
地域活動	0件	0件
計	0件	0件

② 手話通訳者等登録者数 18人

【事業の成果】

昨年度に引き続き、派遣依頼はありませんでした。

【課題・方針】

来年度は引き続き事業の周知に努めますが、3年間実績がないことから、令和7年度は市が直営で実施する方向で調整中です。

科 目	聴覚障害者支援		
	予算	決算	差異
受託金収入	100,000	0	100,000
事業活動収入計 (1)	100,000	0	100,000
事業費支出	101,000	3,242	97,758
事務費支出	2,000	0	2,000
事業活動支出計 (2)	103,000	3,242	99,758
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 3,000	△ 3,242	242
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 3,000	△ 3,242	242

5. 介護福祉事業

(1) 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

日常生活が困難な要支援・要介護状態の方へホームヘルパーを派遣し、その方自身の能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助のサービスを提供しました。保険外サービス（ふれあいサポート事業）を実施しました。

- ・実施事業所 1 事業所（本拠地） 1 出張所（守門・入広瀬）
- ・提供日 1月1日を除く毎日 特別な事情により営業日以外も対応
- ・提供時間 8時30分～17時30分 特別な事情により時間外も対応
- ・訪問介護事業は、利用者延人数 前年比 介護△484人、総合8人でした。
- ・ふれあいサポート事業は、利用者延人数 前年比 介護△1人でした。
- ・各種会議への参加と zoom による研修中心に参加しました。
- ・介護認定審査会委員に訪問介護事業所より1名が任命されています。
- ・サービス提供を継続するための災害BCPの研修・訓練を実施しました。
- ・医療介護連携システム team（米ネット）の活用し、困難ケースへの対応力の向上を目的にケア会議等への参加や事例検討会を開催しました。

① 訪問介護（介護予防訪問介護相当サービス）利用実績

訪問介護（総合事業）派遣実績

		本拠地			守門・入広瀬出張所			全体			
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	
介護	利用者数(人)	610	964	△ 354	438	568	△ 130	1,048	1,532	△ 484	
	生活	回数	589	536	53	562	299	263	1,151	835	316
		時間	572	535	37	475	240	235	1,047	775	272
	身体	回数	4,558	6,397	△ 1,839	2,960	4,794	△ 1,834	7,518	11,191	△ 3,673
		時間	3,345	4,082	△ 737	1,592	2,656	△ 1,064	4,937	6,738	△ 1,801
	身体生活	回数	913	1,290	△ 377	1,376	1,306	70	2,289	2,596	△ 307
時間		1,176	1,763	△ 587	1,425	1,315	110	2,601	3,078	△ 477	
総合	利用者数(人)	144	121	23	93	108	△ 15	237	229	8	
	派遣回数(回)	792	700	92	578	670	△ 92	1,370	1,370	0	

② ふれあいサポート事業（保険外サービス）利用実績

ふれあいサポート事業

		本拠地			守門・入広瀬出張所			全体		
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数(人)		15	11	4	7	12	△ 5	22	23	△ 1
身体	回数	16	9	7	8	13	△ 5	24	22	2
	時間	47	12	35	11.5	18.5	△ 7	58.5	30.5	28
生活	回数	0	12	△ 12	1	0	1	1	12	△ 11
	時間	0	11	△ 11	1	0	1	1	11	△ 10

【事業の成果】

今年度の訪問介護事業所は、収入 58,844 千円、 支出 65,647 千円、 資金収支決算は、△6,802 千円でしたが、前年比+1,319 千円で赤字の軽減に努めました。

職員の退職や療養等の休暇による人員の減少により、新規利用者の受入や利用回数増が困難な状態でしたが、可能な限り利用者ニーズに対応するため、本拠地から守門・入広瀬出張へ職員を

派遣するなどし、対応しました。

ヘルパー便りの発信、ケアマネへの情報提供、法令を順守した誠実なサービス提供などを心がけ、本拠地では総合事業の利用件数を増やすことができました。

【課題・方針】

退職、療養休暇等による職員数の減少や、職員の高齢化に伴う勤務時間・日数の減少による職員不足が原因で、心身的な負担が増加し別の職員が体調を崩すなどの悪循環な状態となっています。また、職員不足により新規利用者の受入が困難となっており、待機者数が15人以上で利用者ニーズに対応できていない状況となっています。

利用者ニーズに対して職員不足を解消するため職員募集を行っていますが、応募者がいないため、職員自らが知人等に声を掛けるなど募集に努めています。

現在の職員数でご自宅で介護を必要とされている方に、質の高いサービスの提供が行えるように、支援の内容や優先順位を検討し、他のサービスへの移行等含め関係機関との連携を図っていきます。

介護福祉事業

単位:円

科 目	訪問介護		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	0	20,000	△ 20,000
経常経費補助金収入	1,000	0	1,000
介護保険事業収入	58,079,000	57,908,258	170,742
その他の事業収入	206,000	177,750	28,250
受取利息配当金収入	10,000	1,656	8,344
その他の収入	738,000	737,137	863
事業活動収入計 (1)	59,034,000	58,844,801	189,199
人件費支出	60,393,000	57,231,172	3,161,828
事業費支出	8,392,000	7,675,407	716,593
事務費支出	923,000	740,457	182,543
利用者負担軽減額	1,000	0	1,000
事業活動支出計 (2)	69,709,000	65,647,036	4,061,964
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 10,675,000	△ 6,802,235	△ 3,872,765
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
固定資産取得支出	100,000	99,200	800
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,748,000	1,747,547	453
施設整備等支出計 (5)	1,848,000	1,846,747	1,253
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 1,848,000	△ 1,846,747	△ 1,253
拠点区分間繰入金収入	2,642,000	2,642,000	0
その他の活動による収入	357,000	355,500	1,500
その他の活動収入 計 (7)	2,999,000	2,997,500	1,500
積立資産支出	0	1,656	△ 1,656
サービス区分間繰入金支出	13,519,000	10,673,000	2,846,000
その他の活動による支出	270,000	268,380	1,620
その他の活動支出 計 (8)	13,789,000	10,943,036	2,845,964
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 10,790,000	△ 7,945,536	△ 2,844,464
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 23,313,000	△ 16,594,518	△ 6,718,482

(2) 通所介護事業（地域密着型通所介護）・介護予防訪問介護相当サービス事業

要支援要介護状態の方に対して、能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助や個別機能訓練を行うことにより、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図れるよう努めました。

- ・実施事業所 3事業所（伊米ヶ崎デイサービス、湯之谷デイサービス、守門デイサービス）
- ・提供日 12月31日～1月3日 以外
 - 伊米ヶ崎デイサービスセンター 毎週 土曜日・日曜日 以外
 - 湯之谷デイサービスセンター 毎週 土曜日 以外
 - 守門デイサービスセンター 毎週 土曜日 以外
- ・提供時間 9時00分～16時30分（7.5時間 送迎を含めない）
- ・3事業所合計の利用者延人数 前年比 介護△118人、総合75人で、総合事業の利用者数が増加しています
- ・理美容サービスを実施しました。
- ・実習生の受け入れはありませんでした
- ・職場体験を受け入れました
 - 伊米ヶ崎デイサービスセンター
 - R5.年9月 職場体験学習 小出中2名
- ・ボランティアを受け入れました。
 - 伊米ヶ崎デイサービスセンター
 - 傾聴ボランティア1名 R5年4月～（2回/月程度）
 - ボランティアスクール 小出中3名 R5年7月31日
 - 演芸ボランティア（民謡・三味線） 計4日
 - 湯之谷デイサービスセンター
 - 軽作業・話し相手ボランティア R6年2月19日・23日
 - 守門デイサービスセンター
 - 傾聴ボランティア 1名 R5年11月～（1回/週 程度）
 - 演芸ボランティア（民謡・三味線） R5年11月13日
 - 北里看護学生ボランティア 2名 R5年12月3日・10日・17日
 - 演芸ボランティア（折り紙等）2名 R6年3月12日
- ・介護認定審査会委員に通所介護事業所より5名が任命されています。
- ・講師依頼がありました。
 - 湯之谷デイサービスセンター
 - R5.年11月 地域の茶の間（折立）
 - 守門デイサービスセンター
 - R6年 3月 介護職員魅力アピール隊講演会
- ・地域との交流を行いました。
 - 伊米ヶ崎デイサービスセンター
 - R5年 9月 伊米ヶ崎小学校3年生 貯金箱作り
 - R5年10月 防災訓練（伊米ヶ崎公民館、地区の住民）
 - R5年11月 伊米ヶ崎小学校3年生 芋ほり
 - R5年11月 伊米ヶ崎小学校2年生 職場インタビュー
 - R5年12月 伊米ヶ崎小学校3年生 焼き芋会
 - R5年12月 伊米ヶ崎公民館にて作品展示会（12/1～16）

R6年 1月 伊米ヶ崎小学校3年生 余興披露
 R6年 3月 伊米ヶ崎小学校3年生 交流
 R6年 3月 介護者教室（伊米ヶ崎コミ協と合同） 参加者約30名

湯之谷デイサービスセンター

R5年 9月 南山荘消防訓練に参加
 R6年 2月 湯之谷小学校4年生 交流

守門デイサービスセンター

R5年 6月 須原小学校2年生 交流
 R5年 9月 須原小学校2年生 敬老会行事参加
 R5年 10月 須原小学校3年生 演奏披露
 R5年 11月 須原小学校4年生 踊り披露

- ・お客様アンケートを実施しました。
- ・区分別会議で市内他事業所と連携を図りました。
- ・各種会議への参加と研修会（zoom含む）に参加しました。
- ・医療介護連携システムteam（米ねっと）を活用し、医療との連携がスムーズに行いました。
- ・サービス提供を継続するために感染症についての研修、災害BCP訓練を実施しました。

	伊米ヶ崎デイサービス			湯之谷デイサービス			守門デイサービス			通所介護全体(平均)			
	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	
定員	18	23	△5	25	25	0	29	29	0	24	26	△2	
開所日	257	257	0	309	310	△1	309	310	△1	292	292	△1	
介護	年間利用者数	386	479	△93	568	565	3	889	917	△28	614	654	△39
	年間利用回数	3,462	4,120	△658	5,160	4,836	324	6,452	7,129	△677	5,025	5,362	△337
総合	年間利用者数	64	38	26	137	113	24	205	179	26	135	110	25
	年間利用回数	369	181	188	884	727	157	1,029	965	64	761	624	136
1日平均利用者数	15.7	16.7	△1.0	※21.1	※18.0	3.1	26.4	26.1	0.3	21.1	20.3	0.6	
稼働率(%)	87.2%	72.6%	14.6%	※84.4%	※72.0%	※12.4%	91.0%	90.0%	1.0%	※78.2%	※78.2%	0.0%	

※基準該当生活介護（湯之谷DSのみ）

年間利用者数 44人(+8人) / 年間利用回数344回(+75回)

【事業の成果】

伊米ヶ崎デイサービスセンターは、収入43,561千円、支出52,806千円、資金収支決算は、△9,244千円で、前年比△2,112千円。利用者数の減少により赤字が増加しています。

湯之谷デイサービスセンターは、収入64,803千円、支出66,417千円、資金収支決算は、△1,613千円で、前年比+10,984千円。収入前年比666千円、支出前年比△431千円で大きく赤字の軽減に努めました。

守門デイサービスセンターは、収入74,932千円、支出82,036千円、資金収支決算は、△7,104千円で前年比+516千円とほぼ同額でした。

利用者の特別養護老人ホームへの入所や入退院の繰り返しなどで、新規者を含めた利用者数が減少しており、次月利用計画時の段階から定員数に満たない日がある状況となっています。また、利用者の要介護状態の軽度化により、収益が減少となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響としては、令和5年6月に守門デイサービスセンター、令和6年3月に湯之谷デイサービスセンターでクラスターが発生し、守門デイサービスセンター休業7日間、湯之谷デイサービスセンター休業4日間となり、延495人の利用者が中止となり、約3,000千円の減収となりました。

コロナウイルス感染症クラスター発生がありました。その後は感染予防対策を徹底した上で、小中学生等地域との交流を徐々に増やすことができました。

【課題・方針】

利用者数の減少及び介護度の軽度化による収益の減少と、職員の退職や療養休暇による職員不足、高齢化に伴う勤務時間・日数の減少による他職員の心身の負担の増加、また、3事業所全ての施設の老朽化による修繕等の費用、公用車の維持管理費用負担の増加が課題となっています。

あらゆる職種の職員不足により、機能訓練指導員や看護職員など専門職員が本来の業務に専念できず、介護職員は掃除、洗濯、厨房等の介護業務以外の業務に携わらなければならない状況にあります。

市内利用者の状況を把握し、適切な職員数の配置・定員数の検討を含めた、事業展開に取り組んでいきます。

通所介護事業

単位:円

科 目	伊米ヶ崎デイサービス			湯之谷デイサービス			守門デイサービス			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	1,000	0	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000
経常経費補助金収入	1,000	0	1,000	0	0	175,000	1,000	0	1,000	177,000	0	177,000
介護保険事業収入	42,586,000	43,130,422	△ 544,422	62,632,274	△ 1,790,274	72,879,000	74,394,679	△ 1,515,679	176,307,000	180,157,375	△ 3,850,375	
受取利息配当金収入	0	228	△ 228	1,000	655	345	0	0	1,000	883	117	
その他の収入	441,000	431,000	10,000	2,170,710	164,290	538,000	537,360	640	3,314,000	3,139,070	174,930	
事業活動収入計 (1)	43,029,000	43,561,650	△ 532,650	64,803,639	△ 1,450,639	73,419,000	74,932,039	△ 1,513,039	179,801,000	183,297,328	△ 3,496,328	
人件費支出	44,777,000	41,381,802	3,395,198	50,993,963	50,037	63,982,000	63,963,448	18,552	159,803,000	156,339,213	3,463,787	
事業費支出	12,385,000	10,830,539	1,554,461	14,822,516	2,852,484	17,676,000	17,273,165	402,835	47,736,000	42,926,220	4,809,780	
事務費支出	634,000	594,187	39,813	721,000	600,540	120,460	799,962	14,038	2,169,000	1,994,689	174,311	
利用者負担軽減額	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	1,000	3,000	0	3,000	
事業活動支出計 (2)	57,797,000	52,806,528	4,990,472	69,441,000	66,417,019	3,023,981	82,473,000	82,036,575	436,425	209,711,000	201,260,122	8,450,878
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 14,768,000	△ 9,244,878	△ 5,523,122	△ 6,088,000	△ 1,613,380	△ 4,474,620	△ 9,054,000	△ 7,104,536	△ 1,949,464	△ 29,910,000	△ 17,962,794	△ 11,947,206
施設整備等補助金収入	0	0	0	164,000	△ 164,000	△ 164,000	0	0	0	164,000	△ 164,000	△ 164,000
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	164,000	△ 164,000	△ 164,000	0	0	0	164,000	△ 164,000	△ 164,000
固定資産取得支出	200,000	0	200,000	843,000	207,900	635,100	0	0	1,043,000	207,900	835,100	
ファイナンス・リース債務の返済支出	427,000	426,131	869	1,490,000	1,489,281	719	587,000	586,571	2,504,000	2,501,983	2,017	
施設整備等支出計 (5)	627,000	426,131	200,869	2,333,000	1,697,181	635,819	587,000	586,571	3,547,000	2,709,883	837,117	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 627,000	△ 426,131	△ 200,869	△ 2,333,000	△ 1,533,181	△ 799,819	△ 587,000	△ 586,571	△ 429	△ 3,547,000	△ 2,545,883	△ 1,001,117
事業区分間繰入金収入	2,000,000	1,350,000	650,000	2,000,000	1,350,000	650,000	2,000,000	1,350,000	650,000	6,000,000	4,050,000	1,950,000
サービス区分間繰入金収入	11,173,000	8,500,000	2,673,000	2,173,000	2,000,000	173,000	173,000	173,000	0	13,519,000	10,673,000	2,846,000
その他の活動による収入	0	0	0	1,000	0	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000
その他の活動収入 計 (7)	13,173,000	9,850,000	3,323,000	4,174,000	3,350,000	824,000	2,173,000	1,523,000	650,000	19,520,000	14,723,000	4,797,000
積立資産支出	0	228	△ 228	0	655	△ 655	0	0	0	883	△ 883	
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	1,758,000	77,172	1,680,828	0	0	1,758,000	77,172	1,680,828	
その他の活動による支出	73,000	72,000	1,000	91,000	90,000	1,000	132,000	130,500	296,000	292,500	3,500	
その他の活動支出 計 (8)	73,000	72,228	772	1,849,000	167,827	1,681,173	132,000	130,500	2,054,000	370,555	1,683,445	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	13,100,000	9,777,772	3,322,228	2,325,000	3,182,173	△ 857,173	2,041,000	1,392,500	648,500	17,466,000	14,352,445	3,113,555
予備費 (10)	300,000	0	300,000	300,000	0	300,000	300,000	0	300,000	900,000	0	900,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 2,595,000	106,763	△ 2,701,763	△ 6,396,000	35,612	△ 6,431,612	△ 7,900,000	△ 6,298,607	△ 1,601,393	△ 16,891,000	△ 6,156,232	△ 10,734,768

6. 障害福祉事業

日常生活において支援を必要とする障害をお持ちの方へホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助、視覚障害者等の外出支援等のホームヘルプサービスを提供することにより、生活の質の向上に資するよう努めました。

障害福祉事業全般においては、年々利用者数が増加の傾向にありますが、移動支援の利用者数は、前年同様となっています。

(1) 基準該当生活介護（湯之谷デイサービスセンターで一体的に実施）

基準該当施設において、常に介護を必要とする方に、入浴・食事・排泄の介助等を行うとともに、趣味の場や社会交流の機会を提供しました。

- ・実施事業所 湯之谷デイサービスセンター
- ・提供日 12月31日～1月3日及び土曜日を除く毎日
- ・提供時間 9時00分～16時30分

基準該当生活介護 利用実績

	実績	前年度	比較
利用者数	44	36	8
利用回数	344	269	75

(2) 居宅介護（訪問介護と一体的に実施）

- ・実施事業所 1事業所（本拠地）1出張所（守門・入広瀬）で実施
- ・提供日 1月1日を除く毎日 特別な事情により営業日以外も対応
- ・提供時間 8時30分～17時30分 特別な事情により時間外も対応

障害福祉居宅介護

		本拠地			守門・入広瀬			全体		
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数(人)		232	193	39	64	58	6	296	251	45
派遣 回数・時間	身体 回数	888	869	19	236	102	134	1,124	971	153
	家事 回数	1,028	1,112	△ 84	375	477	△ 102	1,403	1,589	△ 186
	通院 回数	1	3	△ 2	0	0	0	1	3	△ 2

(3) 地域生活支援事業 移動支援（訪問介護と一体的に実施 市から受託）

魚沼市からの依頼により、屋外での移動が困難な障害をお持ちの方へホームヘルパーを派遣し、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会生活参加のための外出に対して移動支援のサービスを提供しました。

移動支援 派遣実績

	本拠地			守門・入広瀬			全体		
	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数	8	8	0	0	0	0	8	8	0
派遣回数	10	9	1	0	0	0	10	9	1

【事業の成果】

基準該当生活介護（障害生活介護）は、収入 2,685 千円、支出 3,094 千円、資金収支決算は、△409 千円で、前年比 656 千円で赤字が減少しています。

居宅介護は、収入 7,306 千円、支出 3,010 千円、資金収支決算は、+4,295 千円で、前年比+1,032 千円。利用者数の増加に伴い収益も増加となっています。

地域で在宅生活を継続するために支援を必要としている障害をお持ちの方に、可能な限りサービス提供を行い在宅生活の継続を支援することが出来ました。

障害福祉サービスは、介護保険事業所が一体となってサービスを提供しています。

【課題・方針】

市内で、湯之谷デイサービスセンター、社協訪問介護事業所以外の事業所で受け入れる事業所が少ない状況です。

必要なサービスが提供を継続できるよう、職員体制等の見直しを行っていきます。

障害福祉事業

単位：円

科 目	居宅介護			障害生活介護			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
障害福祉サービス等事業収入	7,995,000	7,306,260	688,740	2,693,000	2,685,690	7,310	10,688,000	9,991,950	696,050
事業活動収入計 (1)	7,995,000	7,306,260	688,740	2,693,000	2,685,690	7,310	10,688,000	9,991,950	696,050
人件費支出	2,716,000	2,456,643	259,357	2,593,000	2,343,852	249,148	5,309,000	4,800,495	508,505
事業費支出	602,000	533,010	68,990	1,137,000	732,071	404,929	1,739,000	1,265,081	473,919
事務費支出	44,000	20,879	23,121	33,000	18,958	14,042	77,000	39,837	37,163
事業活動支出計 (2)	3,362,000	3,010,532	351,468	3,763,000	3,094,881	668,119	7,125,000	6,105,413	1,019,587
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	4,633,000	4,295,728	337,272	△ 1,070,000	△ 409,191	△ 660,809	3,563,000	3,886,537	△ 323,537
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出		0	0	36,000	0	36,000	36,000	0	36,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	62,000	0	62,000	62,000	0	62,000
施設整備等支出計 (5)	0	0	0	98,000	0	98,000	98,000	0	98,000
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0	△ 98,000	0	△ 98,000	△ 98,000	0	△ 98,000
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	1,758,000	77,172	1,680,828	1,758,000	77,172	1,680,828
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0	1,758,000	77,172	1,680,828	1,758,000	77,172	1,680,828
拠点区分間繰入金支出	2,642,000	2,642,000	0	0	0	0	2,642,000	2,642,000	0
その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の活動支出 計 (8)	2,642,000	2,642,000	0	0	0	0	2,642,000	2,642,000	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 2,642,000	△ 2,642,000	0	1,758,000	77,172	1,680,828	△ 884,000	△ 2,564,828	1,680,828
予 備 費 (10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,991,000	1,653,728	337,272	590,000	△ 332,019	922,019	2,581,000	1,321,709	1,259,291

Ⅱ. 公益事業

1. 居宅介護支援事業

介護サービスを必要としている方、そのご家族の意向に沿った居宅介護支援計画を作成し、利用者の状況にあったサービスを円滑に提供できるように努めました。また、各種申請や更新の手続きの代行も行い、利用者の負担の軽減に努めました。魚沼市北部地域包括支援センター・魚沼市南部地域包括支援センター・魚沼市西部地域包括支援センターからの依頼により介護予防サービス計画を作成し、利用者の状況に最もふさわしいサービスを円滑に提供できるように努めました。

2 事業所併せて、介護給付件数は前年比△146 件、介護予防支援・予防ケアマネジメント件数は前年比+35 件、認定調査（受託事業）は、前年比△19 件でした。

利用者が在宅に必要なサービス又は、突発的・緊急を要した場合に支援が受けられるようサービス調整をいたしました。

- ・実施事業所 2 事業所（魚沼社協居宅介護支援事業所、守門居宅介護支援事業所）
- ・開所日 月曜～金曜 年末年始（12月29日～1月3日）祝祭日を除く
- ・開所時間 8時30分～17時30分

（1）居宅介護支援（介護予防支援・介護予防ケアマネジメント・認定調査）実績

居宅介護支援事業、受託事業（予防支援・認定調査）実績

		魚沼居宅			守門居宅			全 体		
		実 績	前年度	比較	実 績	前年度	比較	実 績	前年度	比較
介護給付	給付件数	1,311	1,438	△ 127	1,240	1,259	△ 19	2,551	2,697	△ 146
	月平均給付件数	109	120	△ 11	103	105	△ 2	213	225	△ 12
予防支援・ ケアマネジメント	受託件数	349	289	60	163	188	△ 25	512	477	35
	月平均給付件数	29	24	5	14	16	△ 2	43	40	3
認定調査	受託件数	74	85	△ 11	75	83	△ 8	149	168	△ 19
	月平均給付件数	6	7	△ 1	6	7	△ 1	12	14	△ 2

- ・研修医、実習生の受入を行いました。

実習生 20 人（岩手医科大学、東京慈恵会医科大学付属病院、
長岡赤十字病院 魚沼基幹病院 ）

研修医 7 人（新潟大学医学部 ）

- ・区分別会議等、市内事業所との連携を図りました。
- ・医療介護連携システム team を活用し、医療との連携を行いました。
- ・他事業所の事例検討会などに参加しました

【事業の成果】

魚沼社協居宅介護支援事業所は、収入 26,188 千円、支出 21,550 千円、資金収支決算は、+4,638 千円。前年比+3,676 千円で収益は増加しています。

守門居宅介護支援事業所は、収入 23,631 千円、支出 24,971 千円、資金収支決算は、△ 1,340 千円。前年比+404 千円で赤字の軽減に努めました。

新規者数が終了者数を上回っています。長期入院等の理由で給付件数は減少していますが、予防支援受託件数を増やすことができました。守門居宅介護支援事業所は、新規者数と終了者数が同じであり、長期入院等により給付件数が減少となりました。

2 事業所ともに多重問題を抱える困難ケースに対して、地域包括と連携を図りながら積極的に支援に取り組みました。

【課題・方針】

資質向上及び介護保険制度のための、研修や会議等の参加による負担の増加が課題となっています。正規職員としての介護支援専門員不足により2事業所での運営が難しくなっています。

支援を必要としている方に必要なサービスが継続して提供できるよう市内の地域包括支援センターとの連携を図り、介護予防、重度化防止に向けて支援を継続していきます。

居宅介護支援事業

単位:円

科 目	魚沼居宅			守門居宅			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
介護保険事業収入	25,413,000	26,086,470	△ 673,470	23,682,000	23,127,670	554,330	49,095,000	49,214,140	△ 119,140
その他の収入	51,000	102,050	△ 51,050	850,000	504,291	345,709	901,000	606,341	294,659
事業活動収入計 (1)	25,464,000	26,188,520	△ 724,520	24,532,000	23,631,961	900,039	49,996,000	49,820,481	175,519
人件費支出	18,810,000	17,911,275	898,725	22,912,000	22,389,515	522,485	41,722,000	40,300,790	1,421,210
事業費支出	2,986,000	2,524,736	461,264	2,518,000	2,377,231	140,769	5,504,000	4,901,967	602,033
事務費支出	1,270,000	1,113,975	156,025	226,000	204,090	21,910	1,496,000	1,318,065	177,935
事業活動支出計 (2)	23,066,000	21,549,986	1,516,014	25,656,000	24,970,836	685,164	48,722,000	46,520,822	2,201,178
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	2,398,000	4,638,534	△ 2,240,534	△ 1,124,000	△ 1,338,875	214,875	1,274,000	3,299,659	△ 2,025,659
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	523,000	522,155	845	489,000	488,327	673	1,012,000	1,010,482	1,518
施設整備等支出計 (5)	523,000	522,155	845	489,000	488,327	673	1,012,000	1,010,482	1,518
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 523,000	△ 522,155	△ 845	△ 489,000	△ 488,327	△ 673	△ 1,012,000	△ 1,010,482	△ 1,518
サービス区分間繰入金収入	0	0	0	816,000	0	816,000	816,000	0	816,000
その他の活動による収入	0	0	0	342,000	342,000	0	342,000	342,000	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0	1,158,000	342,000	816,000	1,158,000	342,000	816,000
事業区分間繰入金支出	6,176,000	4,050,000	2,126,000	0	0	0	6,176,000	4,050,000	2,126,000
サービス区分間繰入金支出	816,000	0	816,000	0	0	0	816,000	0	816,000
その他の活動による支出	55,000	54,000	1,000	54,000	54,000	0	109,000	108,000	1,000
その他の活動支出 計 (8)	7,047,000	4,104,000	2,943,000	54,000	54,000	0	7,101,000	4,158,000	2,943,000
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 7,047,000	△ 4,104,000	△ 2,943,000	1,104,000	288,000	816,000	△ 5,943,000	△ 3,816,000	△ 2,127,000
予備費 (10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 5,172,000	12,379	△ 5,184,379	△ 509,000	△ 1,539,202	1,030,202	△ 5,681,000	△ 1,526,823	△ 4,154,177

2. 指定管理施設運営事業（市から受託）

(1) 小出ボランティアセンター

・利用者数 延 22,268 人（前年度 19,092 人）

(2) 広神老人福祉センター

・利用者数 延 1,928 人（前年度 1,899 人）

(3) 守門健康センター

・利用者数 延 899 人（前年度 1,369 人）

(4) 守門高齢者居住施設

種 別	居室（室）	定員（人）	利用状況（人）
単身用	3	3	1
世帯用	1	2	0
計	4	5	1

※3月19日単身用退去されました。

【事業の成果】

小出ボランティアセンターでは、小出郷福祉センター解体に伴う利用者の増加に対応しました。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、感染対策を講じながら管理運営を行いました。

【課題・方針】

指定管理者の指定を受けた公共施設で住民サービスの向上を目指した管理運営を行い、当該施設を活用して地域に密着した福祉活動や介護保険事業等の運営を一体的に行います。

指定管理施設運営事業

単位：円

科 目	小出ボランティアセンター			広神老人福祉センター			守門高齢者居住		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	5,262,000	5,262,000	0	5,300,000	5,300,000	0	5,500,000	5,300,000	200,000
事業収入	0	0	0	1,000	0	1,000	216,000	212,220	3,780
その他の収入	678,000	678,000	0	108,000	108,000	0	90,000	90,000	0
事業活動収入計 (1)	5,940,000	5,940,000	0	5,409,000	5,408,000	1,000	5,806,000	5,602,220	203,780
人件費支出	1,455,000	1,261,745	193,255	2,134,000	2,061,695	72,305	5,143,000	5,137,189	5,811
事業費支出	7,216,000	4,268,055	2,947,945	3,236,000	2,522,743	713,257	912,000	396,741	515,259
事務費支出	410,000	410,200	△ 200	481,000	472,430	8,570	87,000	68,290	18,710
事業活動支出計 (2)	9,081,000	5,940,000	3,141,000	5,851,000	5,056,868	794,132	6,142,000	5,602,220	539,780
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 3,141,000	0	△ 3,141,000	△ 442,000	351,132	△ 793,132	△ 336,000	0	△ 336,000
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金収入	3,141,000	0	3,141,000	0	0	0	336,000	0	336,000
その他の活動収入 計 (7)	3,141,000	0	3,141,000	0	0	0	336,000	0	336,000
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	3,141,000	0	3,141,000	0	0	0	336,000	0	336,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	△ 442,000	351,132	△ 793,132	0	0	0

科 目	守門健康センター			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	7,100,000	7,100,000	0	23,162,000	22,962,000	200,000
事業収入	9,000	0	9,000	226,000	212,220	13,780
その他の収入	324,000	323,000	1,000	1,200,000	1,199,000	1,000
事業活動収入計 (1)	7,433,000	7,423,000	10,000	24,588,000	24,373,220	214,780
人件費支出	1,612,000	1,602,970	9,030	10,344,000	10,063,599	280,401
事業費支出	5,779,000	4,588,374	1,190,626	17,143,000	11,775,913	5,367,087
事務費支出	583,000	581,962	1,038	1,561,000	1,532,882	28,118
事業活動支出計 (2)	7,974,000	6,773,306	1,200,694	29,048,000	23,372,394	5,675,606
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 541,000	649,694	△ 1,190,694	△ 4,460,000	1,000,826	△ 5,460,826
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金収入	0	0	0	3,477,000	0	3,477,000
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0	3,477,000	0	3,477,000
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0	3,477,000	0	3,477,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 541,000	649,694	△ 1,190,694	△ 983,000	1,000,826	△ 1,983,826

3. 公益受託事業

(1) 生きがい活動支援通所事業（市から受託）

高齢者の社会参加や自立的な生活の促進をすることで要介護状態になることを防ぎ、健康でいきいきとした生活を送るため、日常動作訓練・レクリエーション等を行いました。

・実利用者数

	堀之内	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	計	前年度
4月	7人	11人	17人	6人	2人	43人	43人
5月	5人	11人	18人	5人	2人	41人	39人
6月	5人	11人	17人	5人	2人	40人	43人
7月	5人	11人	19人	5人	2人	42人	42人
8月	5人	10人	18人	4人	2人	39人	38人
9月	5人	10人	17人	4人	2人	38人	40人
10月	5人	10人	14人	4人	2人	35人	42人
11月	5人	10人	15人	5人	3人	38人	43人
12月	5人	10人	13人	5人	3人	36人	41人
1月	6人	12人	14人	5人	2人	39人	41人
2月	4人	10人	13人	5人	2人	34人	41人
3月	4人	11人	15人	5人	3人	38人	42人

【事業の成果】

感染対策を徹底し、休むことなく事業を実施できました。また、介助員のスキルアップを目的に意見交換を行いました。

【課題・方針】

介護保険制度への移行により利用者が減少しています。事業の周知や見直しも含め、市と協議・検討を進めます。

公益受託事業

単位：円

科 目	生きがい活動		
	予算	決算	差異
受託金収入	12,543,000	11,808,720	734,280
事業活動収入計 (1)	12,543,000	11,808,720	734,280
人件費支出	8,091,000	7,911,367	179,633
事業費支出	5,580,000	4,779,670	800,330
事務費支出	193,000	166,470	26,530
事業活動支出計 (2)	13,864,000	12,857,507	1,006,493
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 1,321,000	△ 1,048,787	△ 272,213
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
事業区分間繰入金収入	958,000	685,017	272,983
その他の活動収入 計 (7)	958,000	685,017	272,983
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	958,000	685,017	272,983
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 363,000	△ 363,770	770

(2) 介護用品支給事業（市から受託）

在宅で寝たきりの高齢者など介護が必要な人に対し、介護用品の給付券を支給しました。

① 家族介護継続支援事業 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計	前年度
4月	59人	45人	33人	60人	9人	9人	215人	193人
5月	65人	89人	38人	94人	37人	9人	332人	337人
6月	76人	66人	40人	92人	29人	9人	312人	322人
7月	69人	94人	43人	95人	31人	13人	345人	348人
8月	68人	97人	42人	94人	40人	9人	350人	352人
9月	73人	75人	45人	88人	37人	11人	329人	321人
10月	71人	89人	44人	101人	38人	16人	359人	354人
11月	58人	82人	51人	91人	33人	13人	328人	350人
12月	68人	86人	46人	92人	40人	19人	351人	329人
1月	61人	87人	48人	80人	33人	17人	326人	326人
2月	63人	81人	45人	78人	46人	14人	327人	318人
3月	76人	113人	53人	101人	49人	18人	410人	439人

② 家族介護用品支給事業 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計	前年度
4月	4人	4人	1人	0人	0人	0人	9人	6人
5月	4人	3人	1人	0人	0人	1人	9人	9人
6月	4人	4人	1人	1人	0人	0人	10人	6人
7月	5人	4人	0人	1人	0人	1人	11人	9人
8月	2人	3人	0人	1人	0人	0人	6人	8人
9月	4人	2人	0人	0人	0人	0人	6人	9人
10月	5人	4人	0人	0人	1人	1人	11人	10人
11月	4人	3人	0人	0人	1人	0人	8人	8人
12月	5人	4人	0人	0人	0人	1人	10人	10人
1月	4人	1人	0人	0人	0人	1人	6人	12人
2月	3人	3人	0人	0人	0人	1人	7人	9人
3月	5人	5人	0人	0人	0人	1人	11人	14人

【事業の成果】

在宅の寝たきり高齢者、身体障害者手帳1・2級所持者で介護が必要な人に対し、給付券により介護用品の支給を行いました。また、民生委員経由で給付券を毎月配布し、利用者の状況把握にも努めました。

【課題・方針】

支援を必要とする対象者の実数を把握することは困難ですが、在宅で介護をされている家族に対する支援策として、民生児童委員や関係機関等と連絡を取りながら、引き続き、事業展開をしていきます。

公益受託事業

単位:円

科 目	介護用品支給		
	予算	決算	差異
受託金収入	16,605,000	18,090,941	△ 1,485,941
事業活動収入計 (1)	16,605,000	18,090,941	△ 1,485,941
事業費支出	16,892,000	16,295,912	596,088
事務費支出	100,000	100,000	0
事業活動支出計 (2)	16,992,000	16,395,912	596,088
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 387,000	1,695,029	△ 2,082,029
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
事業区分間繰入金支出	533,000	533,000	0
その他の活動支出 計 (8)	533,000	533,000	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 533,000	△ 533,000	0
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 920,000	1,162,029	△ 2,082,029

(3) 生活支援コーディネーター事業（市から受託）

第1層（市全域）に生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を進めました。

① 地域ニーズと資源状況の見える化

ア 事務局会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月13日	・令和5年度事業について ・令和5年度の事務局会議について	市役所本庁舎
第2回	4月26日	・地域の運動教室について ・北部圏域（守門・入広瀬地域）の資源情報誌について	市役所本庁舎
第3回	5月25日	・地域の運動教室の立ち上げについて ・包括の介護予防普及啓発事業について	市役所本庁舎
第4回	6月23日	・地域の運動教室の立ち上げについて	市役所本庁舎
第5回	7月26日	・地域資源情報誌（南部・西部圏域）の作成について	市役所本庁舎
第6回	8月7日	・南部圏域（湯之谷地域）第2層協議体構成員について ・西部・北部圏域（広神地域）第2層協議体構成員について	市役所本庁舎
第7回	9月27日	・南部圏域（湯之谷地域）資源情報誌について ・西部・北部圏域（広神地域）資源情報誌について	市役所本庁舎

	期 日	内 容	開催場所
第8回	11月8日	<ul style="list-style-type: none"> 南部圏域（湯之谷地域）資源情報誌について 西部・北部圏域（広神地域）資源情報誌について 令和4年度作成の北部圏域資源情報誌について 地域ケア推進会議作業部会兼北部圏域第2層協議体についての情報提供 	市役所本庁舎
第9回	12月12日	<ul style="list-style-type: none"> 南部圏域（湯之谷地域）資源情報誌について 西部・北部圏域（広神地域）資源情報誌について 	市役所本庁舎
第10回	2月2日	<ul style="list-style-type: none"> 南部圏域（湯之谷地域）資源情報誌について 西部・北部圏域（広神地域）資源情報誌について 	市役所本庁舎

イ 第1層に関すること

a 魚沼市地域ケア推進会議（第1層協議体）

	期 日	内 容	開催場所
第1回	8月23日	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度地域支援事業実績報告 生活支援体制整備事業の進捗状況報告 地域課題について 	市役所本庁舎
第2回	2月14日	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度地域支援事業計画（案） 生活支援体制整備事業の進捗状況報告 地域課題の検討 	市役所本庁舎

b 地域ケア推進会議作業部会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関受診時の移動手段（タクシー券）について <ul style="list-style-type: none"> 現在の魚沼市内の公共交通体系について タクシー券（外出支援サービス事業／魚沼市高齢者福祉サービス事業） ○県内の支援状況について 	市役所本庁舎

c 魚沼市地域包括ケアシステム推進会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	3月27日	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の各部等の主要事業について 議事 <ol style="list-style-type: none"> 医療・介護分野における人材不足の現状と今後必要と思われる対応について 医療機関受診における移動手段について 地域コミュニティにおける課題等について 	市役所本庁舎

ウ 第2層に関すること

a 北部圏域（守門・入広瀬地域）第2層協議体

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月11日	・資源情報誌（守門・入広瀬地区）について ・今後のスケジュールについて	守門健康センター

b 西部・北部圏域（広神地域）第2層協議体

	期 日	内 容	開催場所
第1回	9月15日	・生活支援体制整備事業について ・資源情報誌について ・意見交換	小出ボランティアセンター
第2回	10月20日	・資源情報誌について ・地域資源について ・意見交換	小出ボランティアセンター
	期 日	内 容	開催場所
第3回	12月5日	・資源情報誌について ・意見交換	小出ボランティアセンター

c 南部圏域（湯之谷地域）第2層協議体

	期 日	内 容	開催場所
第1回	9月22日	・生活支援体制整備事業について ・資源情報誌について ・意見交換	小出ボランティアセンター
第2回	10月10日	・資源情報誌について ・地域資源について ・意見交換	小出ボランティアセンター
第3回	11月22日	・資源情報誌について ・意見交換	小出ボランティアセンター

エ 個別ケース等

a 自立支援型地域ケア個別会議（7/12）（11/15）

b 地域ケア個別会議・事例検討会等への参加 12件

c その他個別事例への関わり 12件

② 地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ

③ 関係者のネットワーク化

ア 顔の見える関係づくり・情報提供等（包括・居宅・医療機関等）

イ 認知症総合支援事業との連携

・認知症初期集中支援チーム検討委員会（5/25）

・認知症ケアパス作成委員会（5/25）

- ・認知症サポーター養成講座・声かけ訓練（守門渋川地区）打合せ（11/2）
- ・認知症サポーター養成講座・声かけ訓練（守門渋川地区）（11/12）
- ウ 小出病院地域連絡会
 - ・小出病院地域連絡会「魚沼市における障害者サービスの多職種連携①」（8/30）
 - ・小出病院地域連絡会「魚沼市における障害者サービスの多職種連携②」（1/12）
- エ その他会議など
 - ・地域支援事業打合せ（4/20）
 - ・地域包括支援センター連絡会（6/15）
 - ・魚沼市一般介護予防事業打合せ（8/18）
 - ・魚沼市高齢者見守りネットワーク会議（8/31）

④ 目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一

⑤ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発

ア 元気づくりサポーターフォローアップ講習

期 日	内 容	開催場所	参加者数
6月21日	講義：「運動指導のポイントと注意点」 実技：「転倒予防・脳トレ」 講師：ほんだ病院 作業療法士 櫻井利成子氏	小出ボラン ティアセン ター	30人

イ 元気づくりサポーター座談会

期 日	内 容	開催場所	参加者数
7月4日	・昨年の活動について ・元気づくりサポーターについて ・脳はつらつ教室について ・活動内容について意見交換	小出ボラン ティアセン ター	6人

⑥ ニーズとサービスのマッチング

ア 元気づくりサポーターの派遣

a 脳はつらつ教室

- ・7団体
- ・実施延回数：30回（前年度 33回）
- ・元気づくりサポーター活動者延数：55人
- ・参加者延人数：249人（前年度 266人）

b 地域の茶の間等

- ・1団体
- ・実施延回数：2回
- ・元気づくりサポーター活動者延数：2人
- ・参加者延人数：22人

イ 地域住民・関係機関への情報提供

【事業の成果】

民生委員児童委員協議会、地域の茶の間、関係機関等へ赴き顔の見える関係づくりに努めるとともに、魚沼市の現状について説明する機会を定期的につくりました。今年度より、個別事例検討会への参加、資源や地域情報を地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等へメール配信する取り組みを開始しました。

地域資源の見える化と話し合いのツールとなる、「地域の資源情報誌」について、湯之谷地域と広神地域の2カ所を作成しました。また、地域住民の取り組みや介護予防の促進について、元気づくりサポーターの派遣のほか、広報誌・ホームページ・SNSにて情報発信を行いました。

【課題・方針】

生活支援コーディネーターについて、第2層（日常生活圏域）の南部、西部、北部の3圏域には配置がなく、第1層（市全域）を受託している当会のみで取り組みを行っています。

元気づくりサポーターについて、主な派遣先である「脳はつらつ教室」の今後の活動について協議が必要です。

高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるように、地域の多様な主体と連携して支援体制の充実と強化を図ります。

公益受託事業

単位：円

科 目	生活支援コーディネート		
	予算	決算	差異
受託金収入	6,490,000	6,307,000	183,000
事業活動収入計 (1)	6,490,000	6,307,000	183,000
人件費支出	4,197,000	4,100,649	96,351
事業費支出	1,828,000	1,732,739	95,261
事務費支出	136,000	134,972	1,028
事業活動支出計 (2)	6,161,000	5,968,360	192,640
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	329,000	338,640	△ 9,640
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	10,000	0	10,000
その他の活動による支出	339,000	338,640	360
その他の活動支出 計 (8)	339,000	338,640	360
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 329,000	△ 338,640	9,640
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(4) 軽度生活支援事業（市から受託）

自立した在宅生活の継続を図るため、在宅で日常生活上の援助を必要とする、概ね65歳以上の高齢者世帯等に対して、軽易な日常生活上の援助を行いました。

職員数の減少により支援が困難なことから、利用者数は前年比△18人、派遣回数も前年比△28回となっています。

① 生活援助事業（訪問介護事業所）

軽度生活支援（生活援助）派遣実績

	本拠地			守門・入広瀬			全体		
	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数	38	56	△ 18	12	12	0	50	68	△ 18
派遣回数	164	191	△ 27	51	52	△ 1	215	243	△ 28
派遣時間	177.5	177.5	0.0	52.0	52.0	0.0	230	230	0.0

【事業の成果】

介護保険を利用するほどではなく、軽易な日常生活の支援があれば現状を維持できる方に、在宅生活の継続を図るためヘルパーが訪問することで、状態の維持を保つことが出来ました。

職員数の減少の中、勤務の調整を行い最低限の支援を行うことができました。

【課題・方針】

現状を維持しながら在宅生活が継続できるように、自立支援、重度化防止に向けた取り組みを継続していきます。また、職員確保に向けた取り組みを行っていきます。

② 除雪援助事業

ア 利用実績

地区	利用件数		合計	前年度利用件数		合計
	屋根雪	門払い		屋根雪	門払い	
堀之内	15件	26件	41件	17件	27件	44件
小出	14件	22件	36件	13件	21件	34件
湯之谷	8件	23件	31件	8件	25件	33件
広神	13件	33件	46件	11件	26件	37件
守門	31件	49件	80件	29件	46件	75件
入広瀬	10件	24件	34件	10件	18件	28件
合計	91件	177件	268件	88件	163件	251件

イ 個人作業登録者数

地区	登録者数		合計	前年度登録者数		合計
	屋根雪	門払い		屋根雪	門払い	
堀之内	14件	18件	32件	20件	23件	43件
小出	13件	19件	32件	17件	20件	37件
湯之谷	9件	24件	33件	8件	27件	35件
広神	17件	31件	48件	20件	28件	48件
守門	30件	42件	72件	34件	41件	75件
入広瀬	10件	19件	29件	9件	13件	22件
市外	0件	0件	0件	2件	1件	3件
合計	93件	153件	246件	110件	153件	263件

【事業の成果】

高齢者世帯等要援護世帯を対象に屋根雪除雪と門払いの支援を行い、冬期間在宅での自立した生活の継続につながりました。また、豪雪による家屋倒壊等災害被害の防止が出来ました。

事業を通して平時の見守りにもつながっています。

【課題・方針】

作業者の高齢化により担い手が減っており、マッチング相談が増えてきました。

在宅生活が継続できるよう現状の取り組みを継続するとともに、降雪量によりサービスの需給に影響が生じる事業のため、大雪時でも迅速に対応が出来るよう、関係機関と調整を図ります。

公益受託事業

単位：円

科 目	除雪援助			生活介護			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	5,456,000	5,303,968	152,032	648,000	576,050	71,950	6,104,000	5,880,018	223,982
事業活動収入計 (1)	5,456,000	5,303,968	152,032	648,000	576,050	71,950	6,104,000	5,880,018	223,982
人件費支出	5,189,000	4,459,559	729,441	648,000	576,050	71,950	5,837,000	5,035,609	801,391
事業費支出	502,000	384,930	117,070	0	0	0	502,000	384,930	117,070
事業活動支出計 (2)	5,691,000	4,844,489	846,511	648,000	576,050	71,950	6,339,000	5,420,539	918,461
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 235,000	459,479	△ 694,479	0	0	0	△ 235,000	459,479	△ 694,479
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金支出	2,680,000	2,680,000	0	0	0	0	2,680,000	2,680,000	0
その他の活動支出 計 (8)	2,680,000	2,680,000	0	0	0	0	2,680,000	2,680,000	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 2,680,000	△ 2,680,000	0	0	0	0	△ 2,680,000	△ 2,680,000	0
予 備 費 (10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 2,915,000	△ 2,220,521	△ 694,479	0	0	0	△ 2,915,000	△ 2,220,521	△ 694,479

Ⅲ. 収益事業

1. 会館運営事業

会館の利用許可及び施設の維持管理に関する業務を行いました。

(1) 小出ボランティアセンター

貸館の状況は、Ⅱ 公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

(2) 広神老人福祉センター

貸館の状況は、Ⅱ 公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

(3) 守門健康センター

貸館の状況は、Ⅱ 公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

【事業の成果】

『Ⅱ. 公益事業』、『2. 指定管理施設運営事業』に記載。

【今後の課題】

『Ⅱ. 公益事業』、『2. 指定管理施設運営事業』に記載。

会館運営事業

単位：円

科 目	小出ボランティアセンター			広神老人福祉センター			守門健康センター		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
事業収入	1,465,000	1,379,760	85,240	1,000	0	1,000	20,000	15,600	4,400
事業活動収入計 (1)	1,465,000	1,379,760	85,240	1,000	0	1,000	20,000	15,600	4,400
事業費支出	1,428,000	1,342,760	85,240	1,000	0	1,000	20,000	15,600	4,400
事務費支出	37,000	37,000	0	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計 (2)	1,465,000	1,379,760	85,240	1,000	0	1,000	20,000	15,600	4,400
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	計		
	予算	決算	差異
事業収入	1,486,000	1,395,360	90,640
事業活動収入計 (1)	1,486,000	1,395,360	90,640
事業費支出	1,449,000	1,358,360	90,640
事務費支出	37,000	37,000	0
事業活動支出計 (2)	1,486,000	1,395,360	90,640
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

【資料編】

1. 会 員

(1) 会員数 一般会員 8,209人 特別会員 298人

2. 役員・評議員・委員会・部会

(1) 役員（理事6名以上 13名以内・監事2名以内）

任 期 令和5年6月9日～令和7年6月定時評議員会終結の時まで

役職名	氏 名	選 出 区 域 等	備 考
会 長	森山 正昭	魚沼市内区域	地域の代表
副会長	中村由美子	魚沼市内区域	地域の代表
副会長	津山 幸男	魚沼市内区域	地域の代表
理 事	櫻井 芳典	魚沼市内区域	地域の代表
理 事	佐藤 憲吉	地域の福祉団体	魚沼市民生委員児童委員協議会
理 事	桜井 忍	地域の福祉団体	魚沼市ボランティア連絡会
理 事	吉田 正樹	魚沼市内社会福祉法人	魚沼更生福祉会
理 事	鈴木 勝彦	魚沼市内社会福祉法人	魚沼福祉会
理 事	戸田千穂子	行政職員	魚沼市市民福祉部 副部長
監 事	瀧澤 博忠	学識経験者	
監 事	滝澤 直行	計算書類を監査し得る者	

(2) 評議員（7名以上 20名以内）

任 期 令和3年6月11日～令和7年6月度定時評議員会終結の時まで

氏 名	区域、所属機関団体等	備 考
下村真由美	堀之内コミュニティ協議会	
滝沢 茂	宇賀地コミュニティ協議会	令和5年11月30日まで
下村 春美	宇賀地コミュニティ協議会	令和5年12月1日から
小岩 妙子	小出北部コミュニティ協議会	
小林 進	佐梨地区コミュニティ協議会	
三友 武久	湯之谷地区自治会長会	
酒井 豊	広神地区区長会	
大塩 安弘	広神地区区長会	
櫻井 鉄夫	守門地区区長会	
浅井 宏一	入広瀬区長会	
和久井善之	新潟県司法書士会	
星野 正人	魚沼市老人クラブ連合会	
星 京子	魚沼市食生活改善推進員協議会	

氏名	区域、所属機関団体等	備考
中川 久幸	魚沼ものづくり振興協議会	
横山美智子	魚沼市商工会連絡協議会	

(3) 委員会、部会

① 企画調整委員会

任期 令和5年6月9日～令和7年6月定時評議員会終結の時まで

役職名	氏名	備考
委員	森山 正昭	
委員	中村由美子	
委員	津山 幸男	

② 評議員選任・解任委員会（4名）

任期 令和3年6月11日～令和7年6月定時評議員会終結の時まで

役職名	氏名	備考
委員	佐藤ひろみ	
委員長	大淵 好文	
委員	瀧澤 博忠	
委員	星 敏夫	

③ 生活福祉資金貸付調査委員会委員（8名）

任期 令和4年6月1日～令和6年5月31日

役職名	氏名	役職、所属機関団体等	備考
委員長	鈴木 虚子	小出地区民児協	
委員	星野 和彦	堀之内地区民児協	
委員	星 ミヨシ	湯之谷地区民児協	
委員	杉田 榮春	広神地区民児協	
委員	猪狩 敏男	守門地区民児協	
委員	浅井 重吉	入広瀬地区民児協	
委員	阿達 文子	市福祉支援課	
委員	星 敏夫	魚沼市社会福祉協議会	

④ 第三者委員（3名）

任期 令和4年6月1日～令和6年5月31日

氏名	役職、所属機関団体等	備考
和久井善之	本会評議員	
瀧澤 博忠	本会監事	
青木 悟	学識経験者	

⑤ 法人後見事業運営委員会委員（7名）

任 期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

役職名	氏 名	所 属	備 考
委員長	黒岩 海映	新潟県弁護士会 高齢者・障害者の財産管理・権利擁護支援センター	弁護士
副委員長	関 丈 祐	成年後見センター リーガルサポート 新潟県支部	司法書士
委 員	稲月 原	小千谷市魚沼市医師会	医師
委 員	枝村 和枝	公益社団法人 新潟県社会福祉士会	社会福祉士
委 員	佐藤由紀子	魚沼市市民福祉部	福祉支援課 障害福祉係長
委 員	茂野 孝	魚沼市市民福祉部	介護福祉課長
委 員	星 敏夫	魚沼市社会福祉協議会	事務局長

3. 職員

（令和6年3月末現在 140人 内訳 職員・准職員66人、臨時職員等74人）

・事務局長	1人	・居宅介護支援部門	8人
・総務課	7人	・通所介護部門	58人
・地域福祉課	27人	・訪問介護部門	19人
・介護福祉課	3人	・受託事業部門	17人

4. 会議

(1) 理事会

	期 日	議案内容等	開催場所
第1回	5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長諸報告、会長専決事項報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会定款の一部変更について ・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告及び令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出決算の承認について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事候補者の推薦について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会監事候補者の推薦について 	小出ボランティアセンター

	期 日	議案内容等	開催場所
第1回	5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会役員報酬及び役員等の費用弁償に関する規則の一部改正について ・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会定時評議員会の招集について 	小出ボランティアセンター
第2回	6月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会定時評議員会報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会会長及び副会長の選定について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について 	小出ボランティアセンター
第3回	11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長諸報告、会長専決事項報告 ・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算（第1次）について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会評議員の解任及び評議員候補者の推薦について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会表彰の被表彰者の決定について ・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会臨時評議員会の招集について 	小出ボランティアセンター
第4回	3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長諸報告、会長専決事項報告 ・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算（第2次）について ・令和6年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業計画及び令和6年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出予算について ・役員等賠償責任保険の内容の決定について ・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会臨時評議員会の招集について 	小出ボランティアセンター

(2) 評議員会

	期 日	議案内容等	開催場所
定時	6月 9日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長諸報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会定款の一部変更について ・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告及び令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出決算の承認について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事の選任について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会監事の選任について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会役員報酬及び役員等の費用弁償に関する規則の一部改正について 	小出ボランティアセンター
臨時	12月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長諸報告 ・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算（第1次）について 	小出ボランティアセンター
臨時	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長諸報告 ・令和5年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算（第2次）について ・令和6年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業計画及び令和6年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出予算について 	小出ボランティアセンター

(3) 委員会・部会

① 企画調整委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・基本財産の処分について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会役員等報酬及び費用弁償に関する規則の一部改正について 	小出ボランティアセンター
第2回	5月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1回社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事会議案について 	小出ボランティアセンター
第3回	8月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の名称変更について 	小出ボランティアセンター
第4回	11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第3回社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事会議案について 	小出ボランティアセンター

	期 日	内 容	開催場所
第5回	3月 7日	・令和5年度第4回社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事会議案について	小出ボランティアセンター

② 評議員選任・解任委員会

	期 日	内 容	開催場所
	8月 8日	・魚沼市社会福祉協議会評議員の選任について	小出ボランティアセンター

5. 組織機構図

組織・機構図

